Pioneer

コンパクトミニコンポーネント

X-NSF1

<別売オプション>

ステレオカセットデッキ

CT-NS1

ミニディスクレコーダー

MJ-NS1

ＭＪ-ＮＳ１の取扱説明書をご覧ください。

ＣＤレコーダー

PDR-NS1

ＰＤＲ-ＮＳ１の取扱説明書をご覧ください。

取扱説明書

絵表示について

このたびはパイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

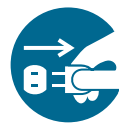
安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告[異常時の処理]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

準　備

ラジオを聞く

CD を聞く

カセットデッキを使う

タイマー動作

その他

こんなことができます

1. レイアウトフリーを可能にする薄型新形態を採用

- 本体の厚さ66mmと薄型化、小型化することで机の上に置いたり、壁掛けするなどインテリアとしても使えるデザインにしました。

2. 赤外線センサーによる CD ドアウィンドウの開閉

- 本機にＣＤを近づけると、赤外線センサーで自動的にＣＤドアウィンドウが開きます。

3. サテライトスピーカーとサブウーファーの組み合わせにより高音質を実現

- 置き場所を選ばない薄型、小型の高音質サテライトスピーカーを採用。サブウーファーを組み合わせることにより豊かな低音も楽しめます。

4. MD、CD-R、テープといった多彩なオプションを用意。

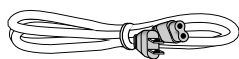
- シンクロ録音により“ カンタン ”に MD、CD-R、テープへ録音ができます。

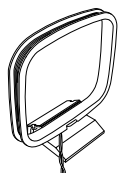
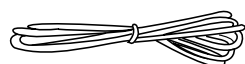
5. 省エネルギー設計製品

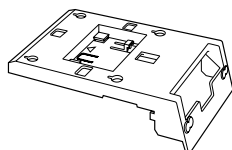
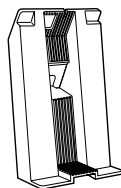
- 本製品は、待機時消費電力を 0.9W 以下に抑えた設計になっています。

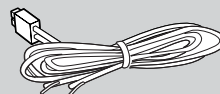
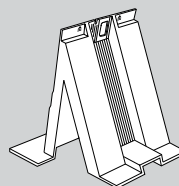
付属品の確認

システム本体部(XS-NSF1)の箱に梱包

- 電源コード× 1

- リモコン× 1

- AM ループアンテナ× 1
（図は組み立てた状態です。）

- FM 簡易 アンテナ× 1

- システムケーブル ×1

- スタンド A × 1

- スタンド B × 1

- リチウム電池× 1
（CR2025）

スピーカーシステム(S-NS1-S-LRW)の箱に梱包

- スピーカーコード× 2
- サブウーファーコード× 1
- スピーカースタンド× 2
- スピーカーグリル× 2

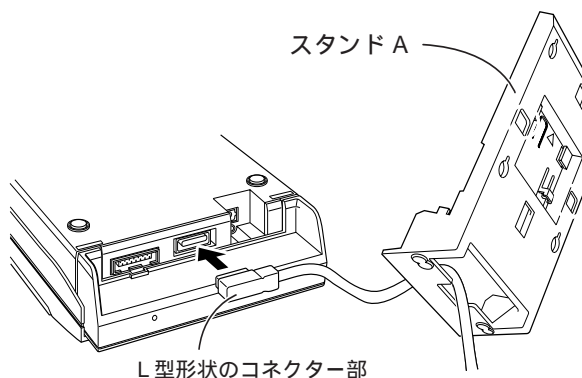
- 保証書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 取扱説明書（本書）
- 安全上のご注意
- 型紙（取付ネジ位置決め用）

接続のしかた

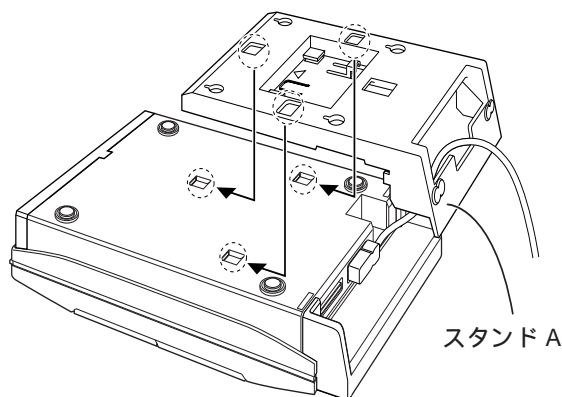
- 接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続を終えてから壁のコンセントへ接続してください。
- オプションのカセットデッキ（CT-NS1）、MDレコーダー（MJ-NS1）、CDレコーダー（PDR-NS1）を接続する場合は、それぞれに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

CDチューナーとアンプを接続する

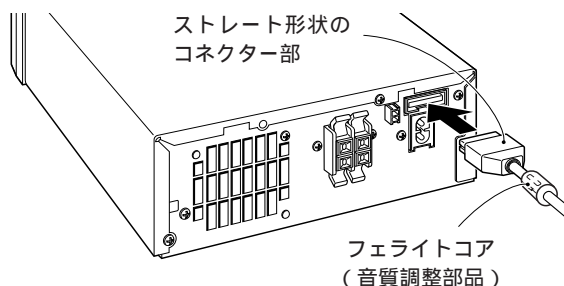
1 システムケーブルをスタンドAに通してから、L型形状のコネクター部をCDチューナーに接続します

プラグは奥までしっかりと挿入してください。

▼ ストレート形状側のコネクター部を挿入することもできます。本機を壁に取り付ける場合など、システムケーブルが下方にレイアウトできて便利です。
壁に取り付ける場合は、9ページの「壁に取り付けるには」を参照してください。

2 CDチューナーの裏側に、スタンドAを取り付けます

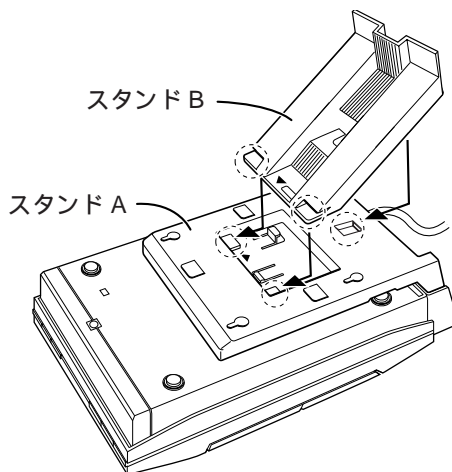
CDチューナーの裏側と、スタンドAの"A"と表示されている部分（3ケ所）をそれぞれ合わせてから取り付けます。

▼ オプションのカセットデッキ（CT-NS1）、MDレコーダー（MJ-NS1）、CD-Rレコーダー（PDR-NS1）を接続する場合、それぞれの接続用システムケーブルを本体とスタンドAとの間に入れ込むこともできます。（ただしアンプとCDチューナーを接続するシステムケーブルは、入れ込むことはできません。）

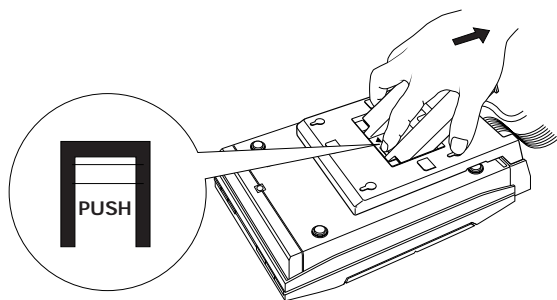
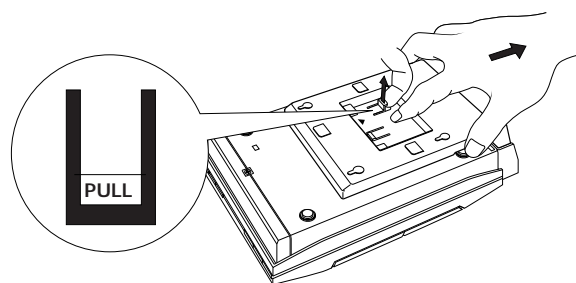
3 アンプにシステムケーブルの反対側の端子を接続します

プラグは上下の向きに注意して、奥までしっかりと挿入してください。

CD チューナーをスタンドを使って縦置きする

本機に付属のスタンド B を取り付けることによって、CD チューナーを卓上に縦置きすることができます。

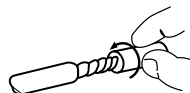
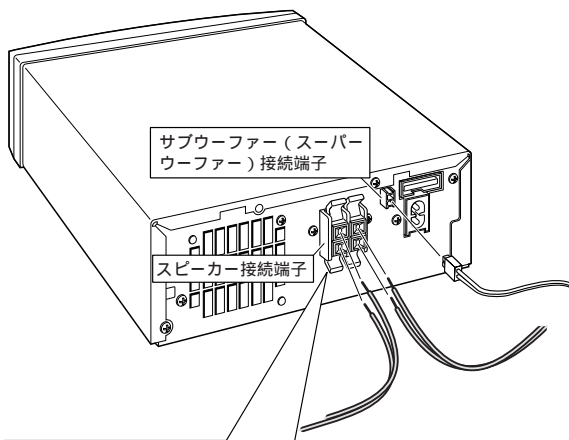
1 スタンドAにスタンドBを取り付けます

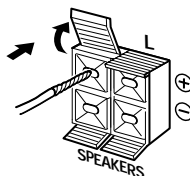
スタンドAの矢印を、スタンドBの矢印に合わせて、3 ケ所のフックが入るように取り付けます。

スタンド A、B を取り外す

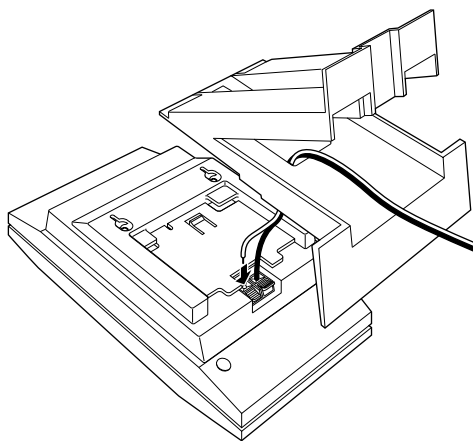
スタンド B をスタンド A から取り外す場合は、スタンド A の「PUSH」と書かれてある部分を押しながら、スタンド B を矢印の方向にスライドさせます。

スタンドAを本体から取り外す場合は、スタンドAの「PULL」と書かれてある部分を持ち上げながら、スタンドAを矢印の方向にスライドさせます。

アンプにスピーカーシステムを接続する

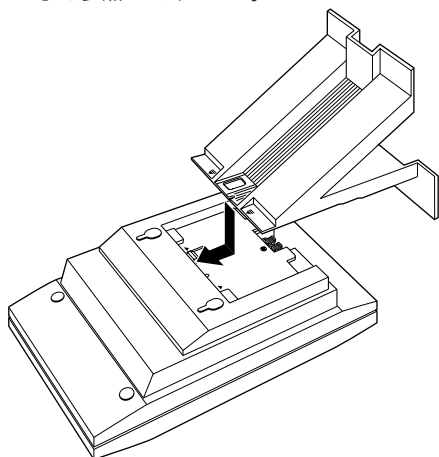
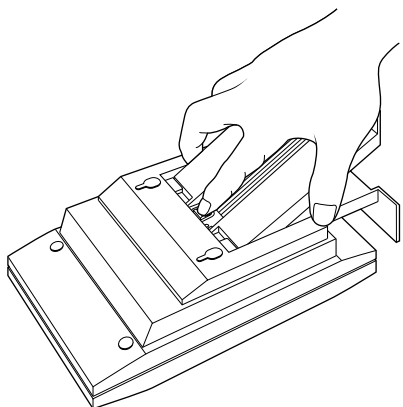
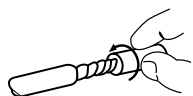
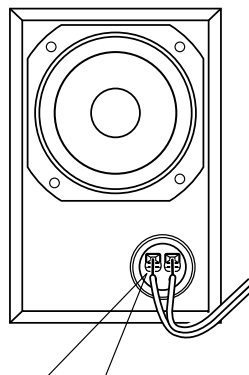
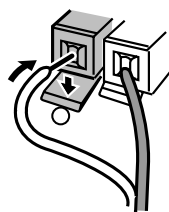
アンプにサテライトスピーカー（右側と左側）とサブウーファーを接続します。

1 アンプにスピーカーコードとサブウーファーコードとを接続します

サブウーファーコードは、フックを下側にして接続します。

コードの被覆を回しながら引き抜きます。

端子のつめを倒したまま、スピーカーからのコードを差し込みます。
端子の極性は赤がプラス（+）で、白に灰色ラインのコードを差し込みます。黒がマイナス（−）で、白いコードを差し込みます。
挿入後、端子のつめをもとに戻します。軽くひっぱって、抜けないことを確かめてください。

2 サテライトスピーカーにスピーカーコードを接続します

スピーカーコードをスピーカースタンドに通してから、スピーカー端子に接続します。（スピーカーを壁に取り付ける場合は、スピーカーコードをスピーカースタンドに通す必要はありません。）
端子の極性は赤がプラス（+）で、白に灰色ラインのコードを差し込みます。黒がマイナス（−）で、白いコードを差し込みます。
挿入後、軽くひっぱって、抜けないことを確かめてください。

3 サテライトスピーカーにスピーカースタンドを取り付けます

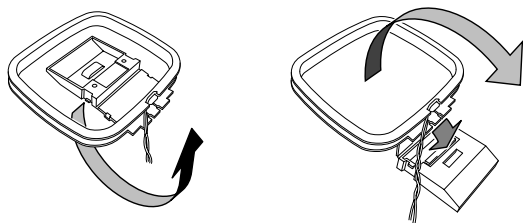
本機に付属のスピーカースタンドを取り付けることによって、サテライトスピーカーを卓上に縦置きすることができます。
壁に取り付ける場合は、9 ページの「壁に取り付けるには」を参照してください。

スピーカースタンドをサテライトスピーカーから取り外す場合は、スピーカースタンドの「PUSH」と書かれてある部分を押しながらスライドさせます。

4 サブウーファーにサブウーファーコードを接続します

コードの被覆を回しながら引き抜きます。

端子のつめを倒したまま、スピーカーからのコードを差し込みます。
端子の極性は赤がプラス（+）で、白に灰色ラインのコードを差し込みます。黒がマイナス（−）で、白いコードを差し込みます。
挿入後、軽くひっぱって、抜けないことを確かめてください。

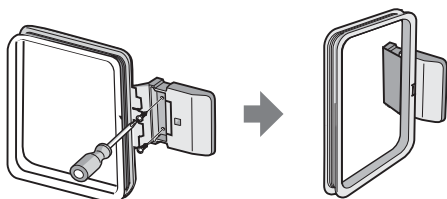
⚠ 注意

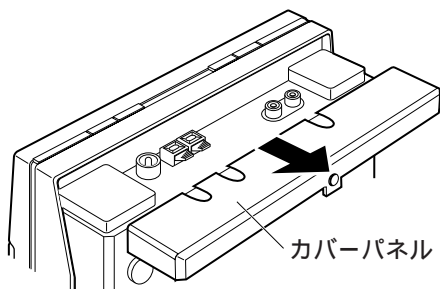
- スピーカーを本システム以外のアンプに接続して使用しないでください。故障、火災の原因になることがあります。
- ダクト内部に手や異物を入れないでください。故障や事故の原因になる可能性があります。

アンテナを取り付ける

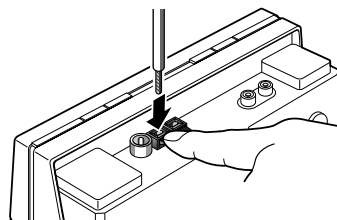
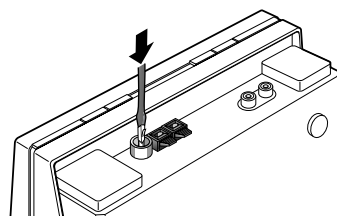
アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないとFM/AM 放送が受信できません。

1 AMループアンテナを組み立てます

壁に取り付けるには....

ネジや押しピンなどを使って取り付けます。

2 CDチューナーの天面にあるカバーパネルを取り外します

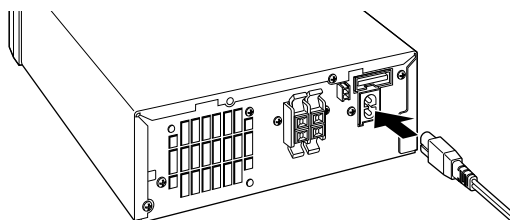
外すときは、カバーパネルの中央部表面を押しながらスライドさせます。

3 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

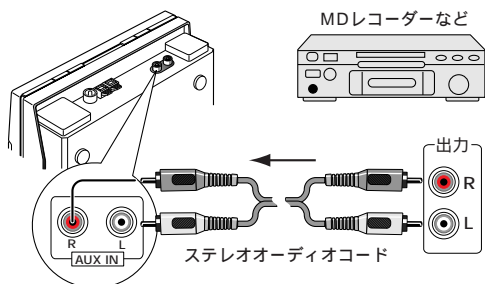
AM アンテナのコードのカバーを回しながら引き抜きます。

AM ループアンテナのコード（2 本）を AM アンテナ接続端子に接続します。どちらをアース側の端子（⏚）につないでもかまいません。
端子のつめを倒し､コードを差し込んだらつめを元に戻します。

FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
またFM 簡易 アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるようにピンと張って、他のコードとは離してください。

4 カバーパネルを取り付けます

カバーパネルの切りかき部分にアンテナを通してください。

電源コードを本体と壁のコンセントへ差し込む

電源コードをアンプ部の AC インレットに差し込みます。その後、電源コードのプラグ部を壁のコンセント（AC 100V）に接続します。
電源コードを壁のコンセントに接続すると､表示が点灯してデモモードになり、デモ表示が開始されます。詳しくは裏表紙の「デモ表示について」を参照してください。

AUX IN 端子での接続

本機で、外部機器の演奏を聞いたり録音したりすることが出来ます。
CD チューナーの外部入力（AUX IN）端子と外部機器の出力端子を別売のピンプラグ付ステレオオーディオコードで接続します。
演奏を聞いたり録音する場合は、リモコンのAUXボタンを押してください。

注意

◆ リモコンの AUX ボタンでは、接続した機器の演奏を開始することはできません。

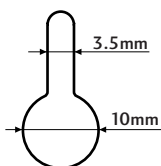
壁に取り付けるには

CD チューナー、サテライトスピーカー、オプションのカセットデッキ、MD レコーダー、CD レコーダーは、壁に取り付けることができます。

1 CDチューナーの裏側に、スタンドAを取り付けます

5 ページを参照してください。

2 スタンドAのBと表示された穴に合わせて、壁に市販のネジを取り付けます

ネジを壁に取り付けるときは、付属の型紙であらかじめ取付位置を決めると便利です。
またネジの直径は、下図を参考にして選んでください。

3 スタンドAのBと表示された穴を、壁に取り付けたネジに引っ掛けます

4 サテライトスピーカーの壁掛け用の穴に合わせて、壁に市販のネジを取り付けます

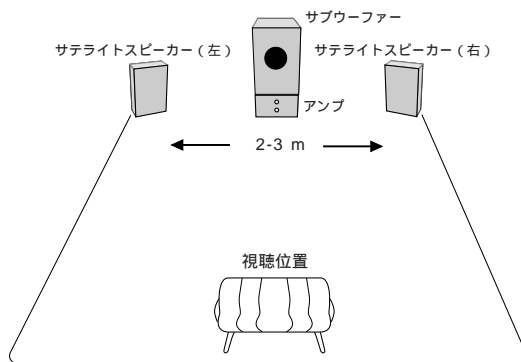
ネジを壁に取り付けるときは、付属の型紙であらかじめ取付位置を決めると便利です。
またネジの直径は、手順 2 の図を参考にして選んでください。

5 サテライトスピーカーの壁掛け用の穴を、壁に取り付けたネジに引っ掛けます

注意

◆ 壁に取り付ける場合は、落下などによる事故のないように十分注意してください。
◆ 取り付ける前に壁などを調べ、本機の質量（44 ページ参照）に十分耐える取付強度があることを確認してください。
◆ 強度などが不明の場合は、専門業者にご相談ください。
◆ 壁に取り付けるためのネジは付属していません。柱や壁の強度や材質に合わせたものを使用してください。
◆ CD チューナー部で 4 箇所、スピーカーで各 2 箇所のすべての箇所にてネジが確実に固定されていることを確認してください。一部の穴だけで壁に取り付けますと、不安定なばかりか落下の危険性があります。
◆ CDチューナーをあまり高い位置に設置しないでください。リモコンが受けにくくなったり、ボタンの操作がしにくくなります。
◆ 組み立て、取付の不備、取付強度不足、誤使用、天災などによる事故・損傷につきましては、当社はいっさい責任を負いません。

スピーカーの設置

下図のようにスピーカーを設置すると、よりサラウンド効果を引き出すことができます。
本機のサブウーファーは、アンプの上に置くことができます。

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

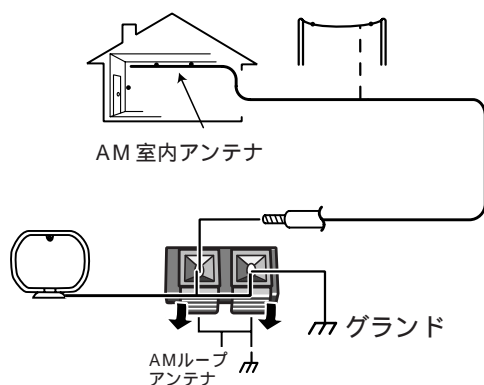
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM 放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

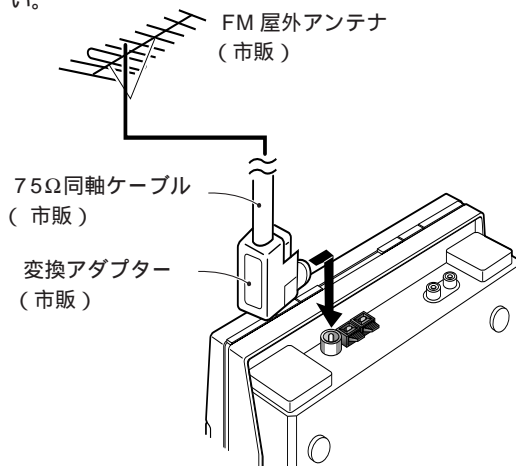
FM 簡易アンテナ：

- 付属の FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 付属の FM 簡易アンテナは、FM 放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

AM アンテナをつなぐ

- AM外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。
- AM外部アンテナを接続してもAM ループアンテナは外さないでください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

スピーカーの設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
- 本機のサテライトスピーカーは防磁設計（EIAJ）*ですのでテレビと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

＊「防磁設計（EIAJ）」とは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

- 本機のサブウーファーは防磁設計ではありません。テレビの近くに設置すると、色ムラを生じます。サブウーファーをテレビから離してご使用ください。

アンプおよびサブウーファーは放熱をよくするため、壁などから後方向15cm、左右両サイド10cm、上方向20cmの間隔をとり、通風スペースを確保してください。(ただしアンプの上にサブウーファーを置くことは可能です)また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

スピーカーのグリルの着脱

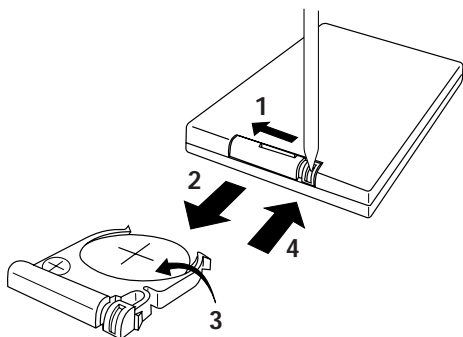
このスピーカーシステムは、前面のグリルをお好みによって交換することができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルの下側をはずします。
2. 同じように、グリル上側を手前に引っぱると、グリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリル上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

- スピーカーを保護するため、グリルははずしたままにしないでください。

リモコンに電池を入れる

電池はリチウム電池（CR2025）を入れてください。

1. この部分に鉛筆などを入れ右側（下図の矢印方向）に動かします。
2. 手順1の状態で、電池ホルダーを引き出します。
3. リチウム電池を ⊕、⊖ 正しく入れます。
   ⊕ 側が、ホルダーの上面になるように入れます。
4. 電池ホルダーをはめ込みます。

注意

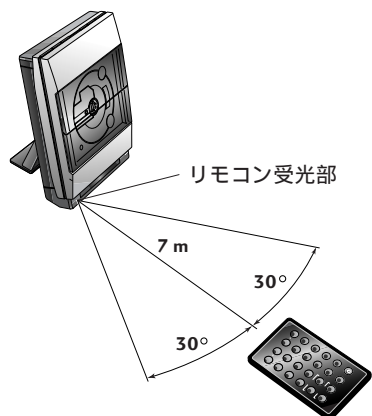
リチウム電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（リチウム電池の注意事項も必ずご覧ください。）

◆ リチウム電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
◆ 不要となったリチウム電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
◆ 長い間（1か月以上）使用しないときはリチウム電池の液漏れを防ぐためにリチウム電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しいリチウム電池を入れてください。

 警告

リチウム電池について

- 幼児の手の届かない所に置いてください。
- 万一飲み込んだ場合には直ちに医師と相談してください。
- 分解、火に投入、充電、加熱、ハンダ付け、ショートはしないでください。

リモコン操作範囲

リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7m、角度が左右30度までです。

- リモコン前部をCDチューナーのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

注意

◆ 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

時計をあわせる

時刻は 12 時間表示です。
時計をあわせていないと、タイマー動作（32 〜 37 ページ参照）を行うことはできません。
また、時計表示を 24 時間表示に切りかえることもできます。（40 ページ参照）

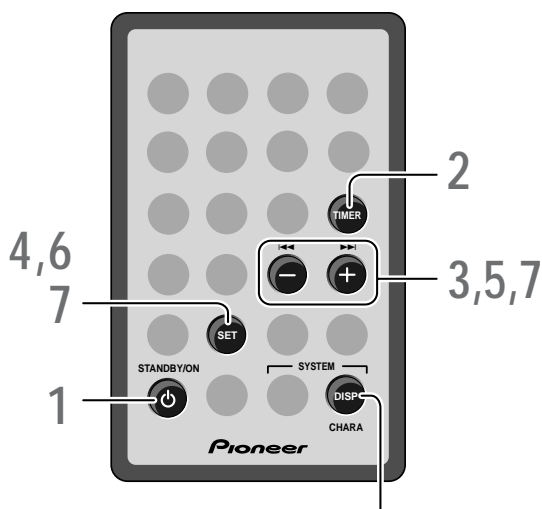
システムディスプレイ / キャラクターボタン

メ モ

▼ 電源がオフの時は、時計表示はしません。これは、省エネルギー設計製品のためです。
時間を表示する場合は、システムディスプレイ/キャラクターボタンを押します。また、表示を消す場合は、スタンバイ / オンボタンを押します。

▼ 年は、西暦2000年から2030年の範囲のみで設定が可能です。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

操作例）　2001 年 11 月 21 日午前 10 時 42 分に合わせる場合

1. STANDBY/ON

スタンバイ / オンボタンを押して電源を入れます

2. TIMER

タイマーボタンを押します

3.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"CLOCK ADJUST"を選びます

CLOCK ADJUST

4. SET

セットボタンを押します

5.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、「年」を合わせます

例の場合は、「年」を 2001 に合わせます。

2001/ 6/15

6. SET

セットボタンを押します

「年」が入力されて、月の設定になります。

7.

手順 5 と 6 を繰り返して、同様に「月」・「日」・「時」・「分」を合わせていきます

例の場合は、「月」を 11 に合わせます。

2001/11/15

SET

例の場合は、「日」を 21 に合わせます。

2001/11/21

例の場合は、「時」を 10 に合わせます。(曜日は自動計算されます。)

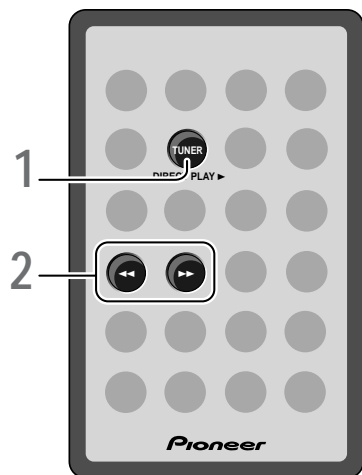
Wed 10:30 am

例の場合は、「分」を 42 に合わせます。

Wed 10:42 am

「分」まで合わせると、表示全体が点滅してセットが完了します。

FM/AM放送を聞く

アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。8～10ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. チューナーボタンを押します

ラジオが聞ける状態になります。

FM 108.00MHz

押すごとに、FM と AM が切りかわります。
FM 放送を聞くときはFM を、AM 放送を聞くときは AM を選択してください。

2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンで聞きたい放送局に周波数を合わせます

周波数の合わせ方（チューニング）には、以下の3 種類があります。

オートチューニング

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、周波数が動きはじめたら指を離します

周波数が自動に変化して、放送局を受信すると止まり、表示部に（ Ψ ）が点灯します。ステレオ放送のときはステレオインジケーター（ ∞ ）も一緒に点灯します。
途中で止めるときは、◀◀ ボタンまたは▶▶ボタンを押すか、停止(■)/ キャンセルボタンを押します。

マニュアルチューニング

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを 1 回ずつ押します

周波数が 1 ステップずつ変化します。
1 ステップは、FM 放送が 0.05MHz、AM 放送が 9kHz です。

ハイスピードマニュアルチューニング

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押し続けます

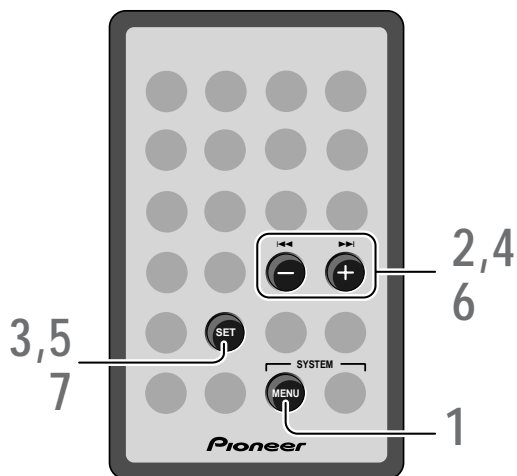
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

メ モ

▼ 電源がオフの時でも、チューナーボタンを押すとラジオ放送を聞くことができます。（ダイレクトパワーオン）
▼ 本機はテレビ放送の 1～3 チャンネルの音声を受信することができます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch： 95.75MHz
2ch： 101.75MHz
3ch： 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。

注 意

◆ FM 放送の 90MHz～108MHz はテレビ信号が影響して、オートチューニングが正常に動作しない場合があります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。
◆ 本機の FM 放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時に FM 放送が混信することがあります。

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、モノラルモードにして放送を聞きやすくします。

FM放送に雑音が多いとき

1.

FM放送の受信中に、システムメニューボタンを押します

2.

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、"TUNER MENU"を選びます

TUNER MENU

3. SET

セットボタンを押します

4.

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、"FM AUTO/MONO"を選びます

FM AUTO/MONO

5. SET

セットボタンを押します

6.

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、"FM MONO"を選びます

押すごとに以下のように切りかわります。

FM AUTO ←→ FM MONO

FM AUTO..... ステレオ放送はステレオ受信に、モノラル放送の時はモノラル受信に自動で切りかわります

FM MONO ... ステレオ放送、モノラル放送に関係なく、モノラル受信します

7. SET

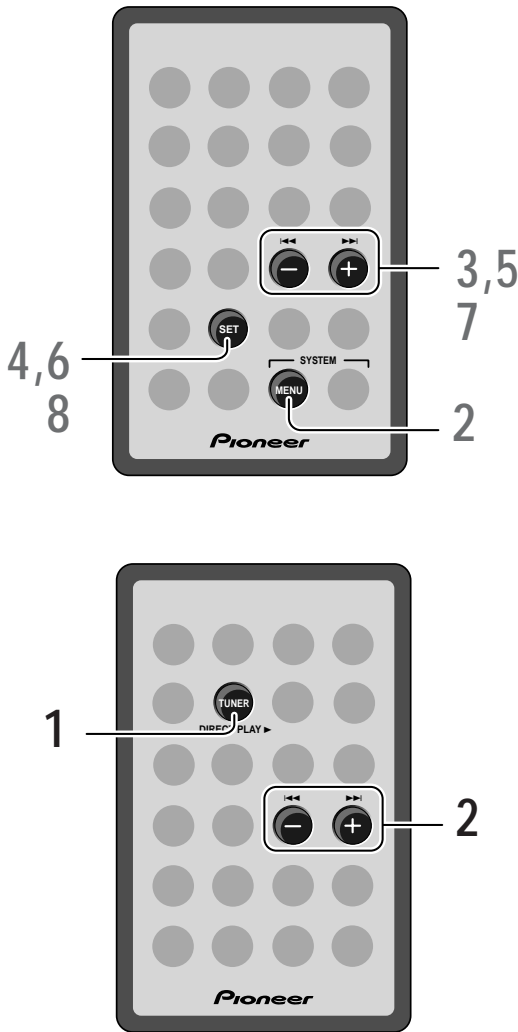
セットボタンを押します

FM MONOを選択すると、表示部にモノインジケーター（○）が点灯します。

注 意

◆ モノラルモードは次に変更するまで変りません。FM MONOで聞いたあとは、FM AUTOに同じ手順で戻しておくことをおすすめします。
◆ ステレオ受信の場合でも、モノラル放送の場合は表示部にステレオインジケーター（ꝏ）は点灯しません。

放送局を記憶させて簡単に選ぶ

FM/AM 放送あわせて 30 局まで、受信した放送局をステーション（記憶番号）に記憶することができます。
記憶した放送局は、簡単に呼び出すことができます。

受信した放送局を記憶させる

例） FM 82.0MHz をステーション 12 へ記憶させます

1. **記憶したい放送局を受信します**

例の場合は、FM 82.0MHz を受信します。

2. SYSTEM MENU **システムメニューボタンを押します**

3. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"TUNER MENU" を選びます**

TUNER MENU

4. SET **セットボタンを押します**

5. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"STA. MEMORY" を選びます**

STA. MEMORY

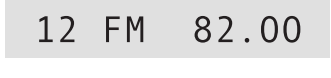
6. SET **セットボタンを押します**

7. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、記憶するステーションを選びます**

記憶するためのステーションは 1 ～ 30 まであります。
例の場合は、ステーション 12 を選びます。

12 FM 82.00

8. SET **セットボタンを押して記憶させます**

FM 82.0MHzがステーション12に記憶されました。

メ モ

▼ 途中で操作を止める場合は、システムメニューボタンを押します。
▼ ステーションに名前を入力してある場合は、ステーション番号のあとに名前が表示されます。

注 意

◆ すでにメモリーされているステーションへメモリーすると、前の放送局は消去され、新しい放送局がメモリーされます。

記憶した放送局を呼び出す

1. TUNER **チューナーボタンを押します**

ラジオが聞ける状態にします。

2. **⏮ ⏭ ボタンで記憶したステーションを選びます**

12 FM 82.00

ラジオを聞く

記憶させた放送局に名前をつける

ステーションメモリーされている放送局に9文字以内で名前をつけることができます。

キャンセルボタン

メ モ

文字を追加するには

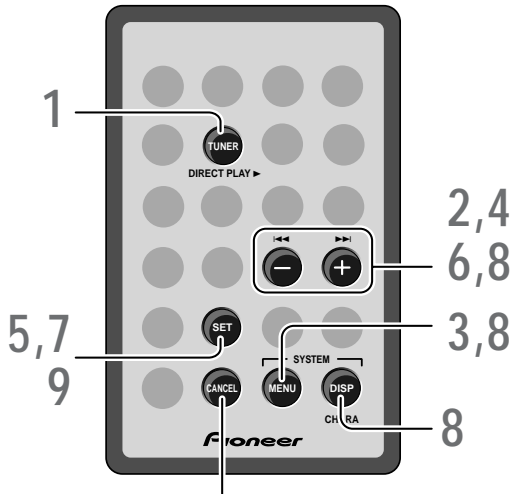
▼ 文字入力中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、追加する文字位置まで点滅部を移動させてから、追加する文字を選択しセットボタンを押します。

文字を削除するには

▼ 文字入力中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、削除したい文字位置まで点滅部を移動させてから、キャンセルボタンを押します。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/ □（空白）
アルファベット（小文字）：
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/ □（空白）
数字、記号：
0123456789!"#$%&'()＊+,ー. /:;<=>?@_ ` □（空白）
カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛ ゜ ー□（空白）

1.

チューナーボタンを押します

ラジオが聞ける状態にします。

2.

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンで、名前をつけたい放送局のステーションを選びます

3. SYSTEM MENU

システムメニューボタンを押します

4. ◀◀ ▶▶

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、"TUNER MENU" を選びます

TUNER MENU

5. SET

セットボタンを押します

6.

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、"STA. NAME" を選びます

STA. NAME

7. SET

セットボタンを押します

8.

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、入力する文字を選びます

"R" を入力したときの例

文字の種類は、システムディスプレイ / キャラクターボタンでかえます

A-Z（大文字）→ a-z（小文字）→ 数字、記号 → カタカナ → A-Z（大文字）

セットボタンで文字を決定します

同じようにすべての文字を入力します。

24 Radio 1

9. SYSTEM MENU

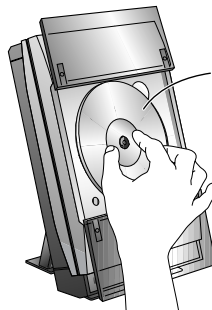
システムメニューボタンを押して終了します

CD を聞く

1. ディスクを近づけると、自動的に CD ドアウィンドウが開きます

OPEN/CLOSE
CD

初期設定では、CD の演奏中でも CD ドアウィンドウが自動的に開きます。
CDドアウィンドウは、60秒後に確認音が鳴り、その 3 秒後に自動的に閉まります。
リモコンや本体の CD 開閉ボタンを押して、CD ドアウィンドウを開閉することもできます。

2. ディスクをセットします

レーベル面（印刷面）を手前にセットしてください。

CDのピックアップレンズには、触れないでください。

3. CD 演奏ボタンを押します

CD ドアウィンドウが閉まり、1 曲目から演奏を開始します。

演奏をやめるには

停止(■)ボタンを押します。

演奏を一時停止するには

CD 演奏ボタンを押します。
もう一度押すと、演奏を再開します。

CD ドアウィンドウが赤外線センサーにより自動的に開くことのできる動作範囲は以下の範囲です。またお好みにより、赤外線センサーの自動開閉をオフにしたり、CD の演奏中は赤外線センサーの自動開閉をしない設定に変更することができます。（39 ページ参照）

赤外線センサー部（受光部）

メ モ

▼ 電源がオフの時でも、CD ボタンを押すと電源が入り、CD がセットされていると演奏を開始します。（ダイレクトパワーオン）

注 意

◆ CD ドアウィンドウを閉めるときに、ドアに手などを挟まないように注意してください。
◆ CD を 2 枚以上重ねて入れたり、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
◆ 8cmCD アダプターは使用しないでください。
◆ CD ドアウィンドウの赤外線センサーによる自動開閉機能を使用する場合は、以下の注意が必要です。
  - 赤外線センサー受光部に直接太陽光を当てないでください。センサーが動作しにくくなることがあります。
  - インバーター蛍光灯の下では、センサーの感知距離が短くなることがあります。
  - 机の上でスタンドを使用して設置した場合、机の表面状態や色により感知距離が変化します。
  - 製品を設置する場合は、製品のすぐ横に壁や本などの遮へい物がこないようにしてください。センサーが誤動作してしまうことがあります。
  - CD ドアウィンドウを CD 開閉ボタンにて閉めた場合は、5 秒間は赤外線センサーによる自動開閉機能は動作しません。

曲をスキップする

前の曲に戻るには

I◀◀ ボタンを押します。
演奏中に 1 回だけ押すと、演奏している曲の頭に戻ります。

次の曲に移るには

▶▶I ボタンを押します。

早送り・早戻しをする

演奏を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには

演奏中に ▶▶ ボタンを押し続けます。

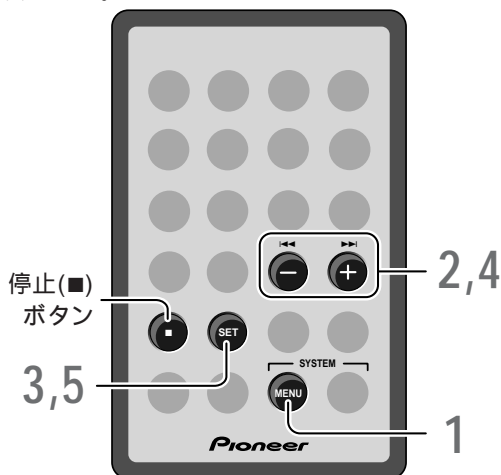
早戻しするには

演奏中に ◀◀ ボタンを押し続けます。

順不同で演奏する（ランダム演奏）

CDから曲を無作為（ランダム）に選んで1回ずつ演奏します。

メ モ

▼ ランダム演奏中に▶▶Iボタンを押すと、演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。
▼ ランダム演奏中にもリピート演奏を設定することができます。1曲リピート演奏と、全曲リピート演奏を設定することができます。
1曲リピート演奏を設定すると、ランダム演奏中の曲を繰り返し演奏します（1 曲ランダムリピート演奏）。また、全曲リピート演奏を設定すると、ランダム演奏をしながら、CD の全曲を繰り返し演奏します（全曲ランダムリピート演奏）。

1. システムメニューボタンを押します

メニューが表示されます。

2. I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、"CD MENU" を選びます

CD MENU

3. セットボタンを押します

4. I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、"RANDOM PLAY" を選びます

RANDOM PLAY

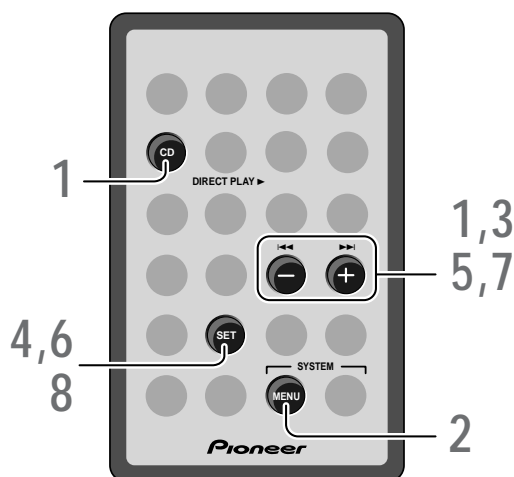
5. セットボタンを押します

ランダム演奏を開始します。

ランダム演奏を停止するには

停止(■)ボタンを押します。

繰り返し演奏する(リピート演奏)

1. CD

CD演奏ボタンを押します

1曲を繰り返し演奏する場合

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、演奏する曲を選びます。

2.

システムメニューボタンを押します

3.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"CD MENU"を選びます

CD MENU

4.

セットボタンを押します

5.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"REPEAT MODE"を選びます

REPEAT MODE

6.

セットボタンを押します

7.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、1曲リピートか全曲リピートかを選びます

押すごとに、以下のように切りかわります。

→ 1曲リピート (REPEAT TRK?) → 全曲リピート (REPEAT ALL?) ⟷ 解除 (REPEAT OFF?) → 1曲リピート

1曲リピートは、現在演奏中の曲を繰り返し演奏します。
全曲リピートは、CDの全曲を繰り返し演奏します。

8.

セットボタンを押します

リピート演奏を開始します。

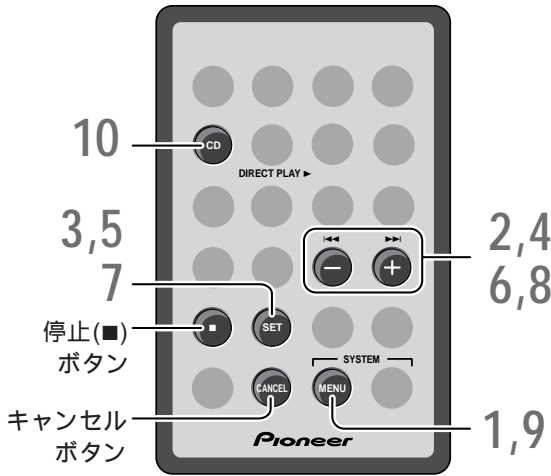
リピート演奏を解除するには

手順7で解除を選ぶか、ディスクを取り出すか、または、電源をオフにします。

メモ

▼ 1曲リピート中に ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。

聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム演奏）

聞きたい曲を最大24ステップまで、好きな順番に登録することができます。

1. **CDの停止中に、システムメニューボタンを押します**

2. **⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、"CD MENU"を選びます**

CD MENU

3. **セットボタンを押します**

4. **⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、"PROGRAM"を選びます**

PROGRAM

5. **セットボタンを押します**

P01　0:00　PGM

6. **⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、聞きたい曲を選びます**

1　4:54　PGM

7. **セットボタンを押します**

8. **手順5と6を繰り返して、聞きたい曲を聞きたい順番に登録します**

登録する曲を間違えた場合は、キャンセルボタンを押します。押すごとに最後に登録した曲から順番に消えていきます。

P12 CLEAR　PGM

25曲以上は、"PGM FULL "と表示されて登録することはできません。

9. **システムメニューボタンを押します**

10 **CD演奏ボタンを押します**

登録した順に演奏を開始します

メモ

▼ プログラム演奏中に⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、プログラムされた前の曲、または後ろの曲に移ります。
▼ 停止中に⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、プログラム登録した曲から順に曲番号を表示します。
▼ プログラム登録した曲順を表示中に停止(■)ボタンを押すと、登録したプログラムステップ数と総演奏時間を表示します。
▼ プログラム演奏中に全曲リピート演奏を設定すると、プログラムした内容を繰り返し演奏します。
(プログラムリピート演奏)
▼ 停止(■)ボタンを2回押すと、プログラム登録した内容をすべて消すことができます。

CDの取り扱いかた

注意

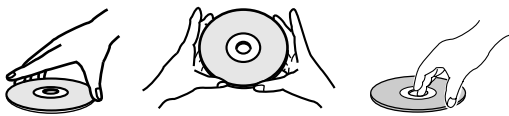
右記マークの付いたディスクをお使いください。
それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。
ただし本機では、演奏だけの機能となります。

CD-R ディスク /CD-RW ディスクの再生について

本機は、音楽用のＣＤフォーマットで記録されたCD-Rディスク /CD-RW ディスクを再生することができます。
ただし、使用するディスクがファイナライズ*されていないとき、または録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性・傷・汚れ・本機のピックアップのレンズ汚れ / 結露等により、再生できない場合があります。

* 詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読み下さい。

ディスクの持ちかた

信号面（虹色に光っている側）にふれないでください。

保管

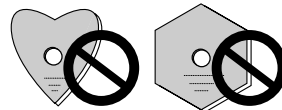
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。
円周に沿って拭かないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

注意

特殊な形状の CD は使用しないでください。
ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。
特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してからご使用ください。

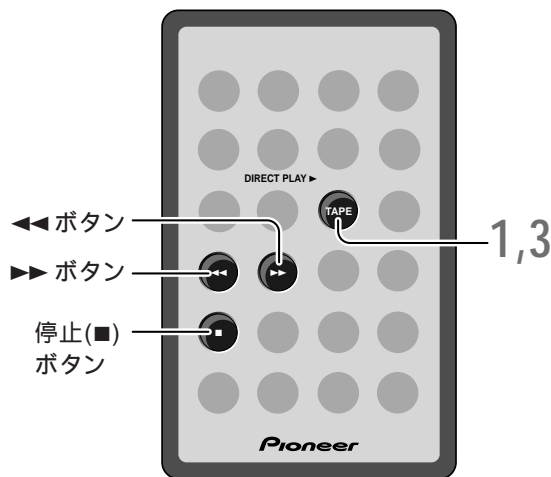
ビデオ CD ［

 または

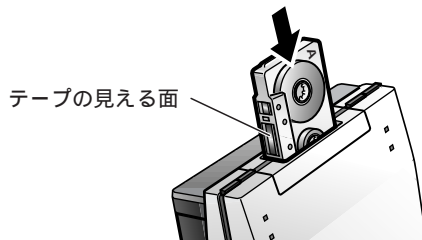
 ］

は再生できません。
ビデオ CD とは、MPEG 方式で最大 74 分のデジタル画像／音声が記録されているディスクです。

テープを聞く

- ヘッドは汚れていませんか？（30 ページ参照）
- あらかじめドルビー NR やリバースモードを設定してください。（24 ～ 25 ページ参照）

1. テープボタンを押します

TAPE

2. 下図のようにテープをセットします

3. テープボタンを押します

本体部で操作する場合は、◄ ► ボタンを押します。演奏インジケーターが点灯し、演奏を開始します。
テープをセットしたあとの最初の演奏は、►（フォワード方向）での演奏となります。
次回からの演奏方向は、前に演奏していた方向となります。

演奏方向を切りかえるには....

演奏中にテープボタン（本体部で操作する場合は、◄ ► ボタン）を押すと、押すごとに演奏方向が切りかわります。

◄（リバース方向）←――→ ►（フォワード方向）

テープをセットするとき、A面を手前にすれば► が A 面に、◄ が B 面になります。

演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

カセットを取り出すには

カセットデッキ本体の取り出し(⏏)ボタンを押します。

早送り・巻き戻しをする

演奏方向が、►（フォワード方向）でも ◄（リバース方向）でも同じ操作で早送りや巻き戻しを行ないます。

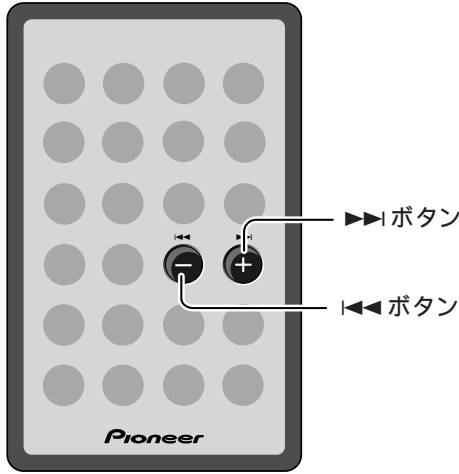
◄◄ ボタンを押す

巻き戻しをします。

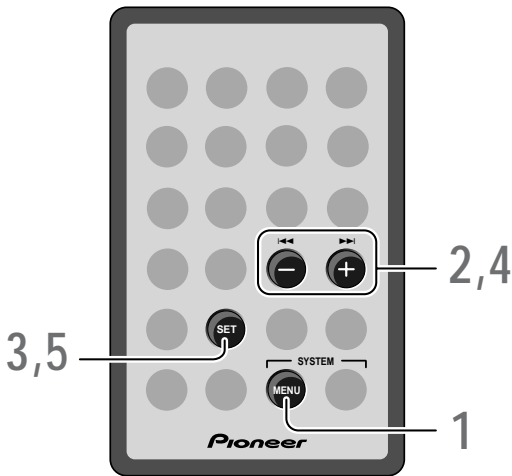
►► ボタンを押す

早送りをします。

メ モ

▼ 電源がオフの時でも、リモコンのテープボタンを押すと電源が入り、テープがセットされていると演奏を開始します。（ダイレクトパワーオン）

注 意

次のようなテープを演奏しているときは、ミュージックサーチが正しく働かないことがあります。

◆ 曲と曲の間に 4 秒以上の無録音部分がないテープ
◆ クラッシック音楽などの小さな音が長く続く曲が入ったテープ
◆ 会議や英会話などの音声が途切れているテープ
◆ 無録音部分にノイズがあるテープ

メ モ

▼ テープを取り出したり電源をオフにすると、テープカウンターは "0000" にリセットされます。

曲の頭出しをする（ミュージックサーチ）

演奏中に、いま聞いている曲や次の曲の頭出しをします。飛び越し選曲もできます。演奏方向が、►（フォワード方向）でも ◄（リバース方向）で同じ様に操作します。

|◄◄ ボタンを押す

聞いている曲の頭出しをします。押すごとに、前の曲を飛び越します。
例えば 3 曲目を演奏中に 2 回押すと、2 曲目の頭出しを行ないます。

TAPE MS P-02

►►| ボタンを押す

次の曲の頭出しをします。押すごとに、曲を飛び越します。
例えば 3 曲目を演奏中に 2 回押すと、5 曲目の頭出しを行ないます。

TAPE MS P+02

カウンターをリセットする

テープカウンターの数字を、"0000" にリセットします。

1. **システムメニューボタンを押します**

2. **|◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"TAPE MENU" を選びます**

TAPE MENU

3. **セットボタンを押します**

SET

4. **|◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"C. RESET" を選びます**

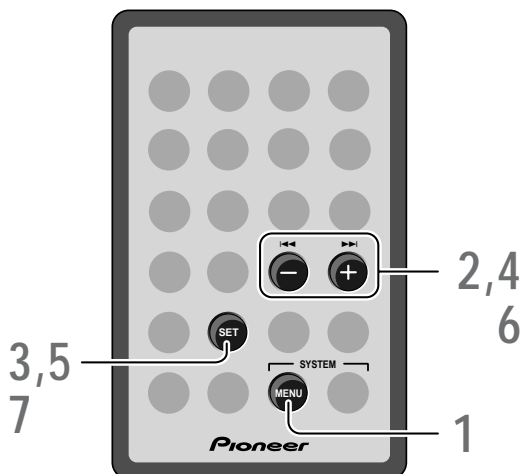
C.RESET

5. **セットボタンを押します**

SET

カウンターの表示が、"0000"にリセットされます。

ドルビー NR の設定

ドルビーNRをオンに設定して録音すると、高域のノイズを低減して再生することができます。

1. **システムメニューボタンを押します**

SYSTEM MENU

2. **⏮ ボタンまたは⏭ボタンを押して、"TAPE MENU" を選びます**

TAPE MENU

3. **セットボタンを押します**

SET

4. **⏮ ボタンまたは⏭ボタンを押して、"DOLBY NR" を選びます**

DOLBY NR

5. **セットボタンを押します**

SET

6. **⏮ ボタンまたは⏭ボタンを押して、ドルビーNRのオン/オフを選びます**

NR ON ? ←——→ NR OFF ?

演奏を行なうときは、録音してあるテープのドルビーのオンとオフの設定に合わせます。
録音時は、オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。

7. **セットボタンを押します**

SET

ドルビー・オン(NR ON)を設定すると、カセットデッキ本体のドルビー・インジケーターが点灯します。

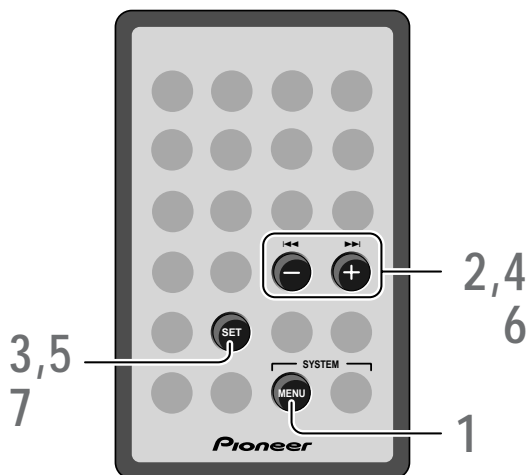
ドルビー NR システムについて

ドルビーNRシステムは、テープの演奏中に生じる高域のテープヒスノイズ（サーという雑音）を減らすシステムです。録音時に、雑音が耳につきやすい高域の小音量の部分のレベルを上げて録音し、演奏時にこのレベルを上げた分だけ減衰させて、もとのレベルに戻します。このとき、同じ耳につきやすい雑音も低減されます。
ドルビーNRシステムをオンにして録音したテープは、演奏時もドルビー NR をオンしてください。
オンで録音したテープをオフで演奏させたり、オフで録音したテープをオンで演奏させると、原音に忠実な演奏ができません。また、本機のドルビー NR システムは B タイプです。

メ モ

▼ ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

リバースモードの設定

リバースモードで ENDLESS を設定すると、最大 16 面まで繰り返し演奏させたり、両面録音をすることができます。もちろん片面だけの録音 / 再生の設定もすることができます。(ONE-WAY)

1. **システムメニューボタンを押します**

2. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"TAPE MENU" を選びます**

TAPE MENU

3. **セットボタンを押します**

SET

4. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"REVERSE MODE"を選びます**

REVERSE MODE

5. **セットボタンを押します**

6. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、リバースモードを選びます**

押すごとに以下のように切り換わります。

ONE-WAY? ←→ ENDLESS?

ONE-WAY：片面だけ演奏 / 録音して停止します。

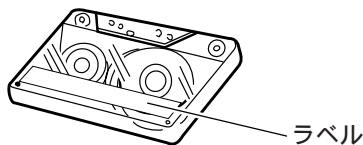
ENDLESS：演奏時は、最大 16 面まで繰り返し演奏してから停止します。
録音時は、片面を 1 回ずつ（両面）録音して停止します。ただし ◀（リバース方向）から録音を開始した場合は、片面（リバース）が終わると停止します。

7. **セットボタンを押します**

SET

ENDLESS を選択すると、リバースモードインジケーターが点灯します。

⚠注意

テープにラベルを貼る場合は、重ね貼りはしないでください。1枚だけしっかりと貼り付けてください。

オートテープセレクター機構

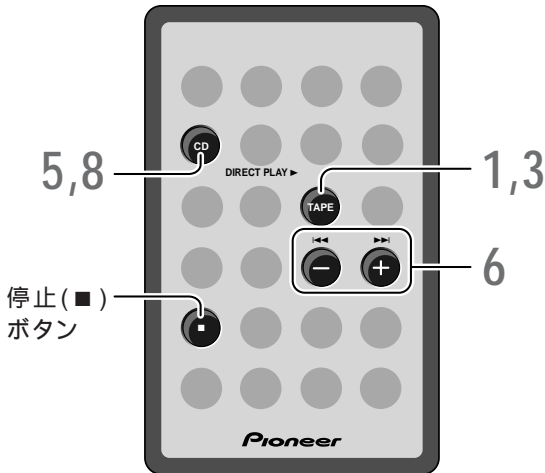
カセットテープの側面にある検知孔によりテープの種類を検知して、それぞれのテープに合った録音バイアス、イコライザーを自動的に設定します。

TYPE II（クローム／HIGH テープ）

TYPE I（ノーマルテープ）

本機の CD をテープに録音する

録音前に準備しておきます

- ヘッドは汚れていませんか？ヘッドが汚れていると、音がこもったりして正常に録音できないことがあります。（30 ページ参照）
- あらかじめドルビー NR やリバースモードを設定してください。（24 〜 25 ページ参照）

1. テープボタンを押します

TAPE　0000

2. テープをセットします

テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。また、誤消去防止ツメの折れているテープには録音できません。

3. テープボタンを押します

TAPE

押すごとに演奏方向が切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。

◄（リバース方向） ◄──────►► （フォワード方向）

テープをセットするとき、A 面を手前にすれば►が A 面に、◄が B 面になります。

4. CD をセットします

5. CD 演奏ボタンを押します

CD

停止(■)ボタンを押して演奏を停止させます。CD の全曲を録音する場合は、手順 7 に進みます。

6. CD のどれか 1 曲だけをテープに録音する場合

|◄◄ ►►|

|◄◄ボタンまたは►►|ボタンを押して、録音したい曲を選びます。

CD の好きな曲だけをテープに録音する場合

20 ページを参照して、CD の録音したい曲をプログラム登録しておきます。

7. カセットデッキの録音一時停止ボタンを押します

●II

表示部に、**“SYNC”** が点灯し、録音一時停止状態になります。

8. CD 演奏ボタンを押します

CD

CDの演奏がスタートすると、テープの録音も自動的にスタートします。

録音をやめるには....

■

停止(■)ボタンを押します。

メ モ

▼ リバースモードにおいて、テープがフォワード面（►）からリバース面（◄）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（►）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

▼ 手順 6 で 1 曲だけをテープに録音する場合、選んだ曲が終わると CD は停止して、テープは録音一時停止状態になります。

注 意

◆ TYPE I（ノーマル）か TYPE II（クローム /HIGH）を使用してください。TYPE IV（メタル）テープには、録音することはできません。

◆ 本機は ALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

PDR-NS1 の CD をテープに録音する

この操作は、別売の CD リコーダー(PDR-NS1)を購入されている場合だけです。

録音前に準備しておきます

- ヘッドは汚れていませんか？ヘッドが汚れていると、音がこもったりして正常に録音できないことがあります。（30 ページ参照）
- あらかじめドルビー NR やリバースモードを設定してください。（24 〜 25 ページ参照）

メ モ

▼ リバースモードにおいて、テープがフォワード面（►）からリバース面（◄）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（►）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。
▼ 手順 6 で 1 曲だけをテープに録音する場合、選んだ曲が終わると CD は停止して、テープは録音一時停止状態になります。

注 意

◆ TYPE I（ノーマル）か TYPE II（クローム /HIGH）を使用してください。TYPE IV（メタル）テープには、録音することはできません。
◆ 本機は ALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

1.

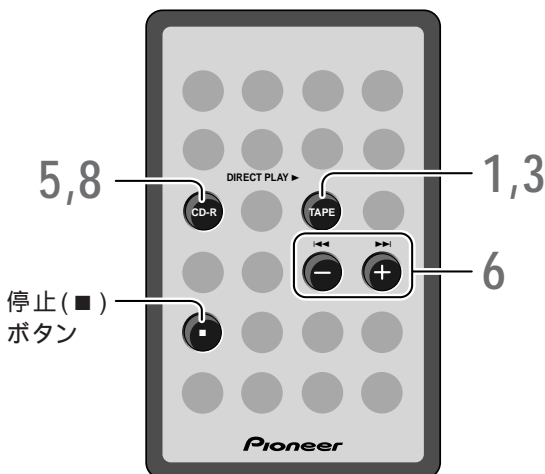
テープボタンを押します

TAPE　0000

2.

テープをセットします

テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。また、誤消去防止ツメの折れているテープには録音できません。

3. TAPE

テープボタンを押します

押すごとに演奏方向が切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。

◄（リバース方向）◄――――►►（フォワード方向）

テープをセットするとき、A 面を手前にすれば ► が A 面に、◄ が B 面になります。

4.

PDR-NS1 に CD をセットします

CDのセットのしかたは、PDR-NS1の取扱説明書をご覧ください。

5. CD-R

CD-R 演奏ボタンを押します

停止(■)ボタンを押して演奏を停止させます。
CD の全曲を録音する場合は、手順 7 に進みます。

6. ⏮ − ⏭ +

CD のどれか 1 曲だけをテープに録音する場合

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、録音したい曲を選びます。

CD の好きな曲だけをテープに録音する場合

PDR-NS1の取扱説明書を参照して、CDの録音したい曲をプログラム登録しておきます。

7. ●II

カセットデッキの録音一時停止ボタンを押します

表示部に、**"SYNC"** が点灯し、録音一時停止状態になります。

8. CD-R

CD-R 演奏ボタンを押します

CDの演奏がスタートすると、テープの録音も自動的にスタートします。

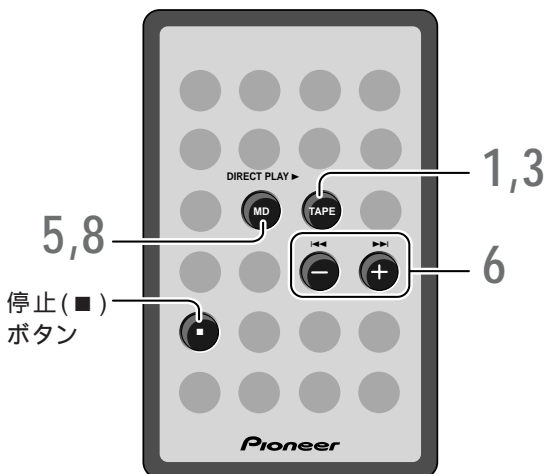
録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

MJ-NS1のMDをテープに録音する

この操作は、別売のMDレコーダー（MJ-NS1）を購入されている場合です。

録音前に準備しておきます

- ヘッドは汚れていませんか？ヘッドが汚れていると、音がこもったりして正常に録音できないことがあります。（30ページ参照）
- あらかじめドルビーNRやリバースモードを設定してください。（24～25ページ参照）

1. テープボタンを押します

TAPE

TAPE 0000

2. テープをセットします

テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。また、誤消去防止ツメの折れているテープには録音できません。

3. テープボタンを押します

TAPE

押すごとに演奏方向が切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。

◄（リバース方向）◄——►►（フォワード方向）

テープをセットするとき、A面を手前にすれば►がA面に、◄がB面になります。

4. MDをセットします

MDの入れかたは、別売のMJ-NS1の取扱説明書を参照してください。

5. MDボタンを押します

MD

停止(■)ボタンを押して演奏を停止させます。
MDの全曲を録音する場合は、手順7に進みます。

6. MDのどれか1曲だけをテープに録音する場合

⏮ ⏭

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、録音したい曲を選びます。

MDの好きな曲だけをテープに録音する場合

別売のMJ-NS1の取扱説明書を参照して、MDの好きな曲だけをプログラム登録しておきます。

7. カセットデッキの録音一時停止ボタンを押します

表示部に、**"SYNC"** が点灯し、録音一時停止状態になります。

8. MDボタンを押します

MD

MDの演奏がスタートすると、テープの録音も自動的にスタートします。

録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

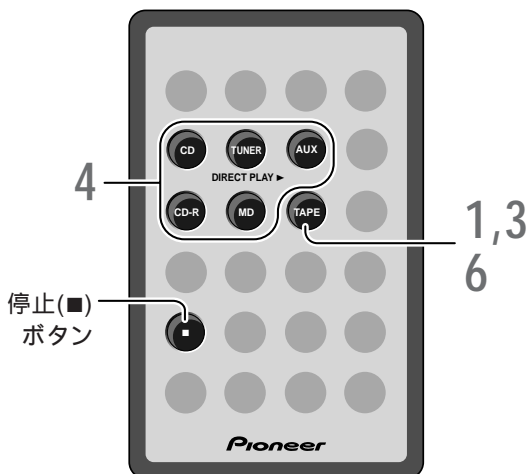
メモ

▼ リバースモードにおいて、テープがフォワード面（►）からリバース面（◄）へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でフォワード面（►）が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。
▼ 手順6で1曲だけをテープに録音する場合、選んだ曲が終わると、MDは停止して、テープは録音一時停止状態になります。
▼ MDレコーダー（MJ-NS1）の接続時に、本機表示部の演奏時間表示の横に点灯する► マークは、オートマーク機能表示です。詳しくは、MDレコーダー（MJ-NS1）の取扱説明書をご覧ください。

注 意

◆ TYPE I（ノーマル）かTYPE II（クローム/HIGH）を使用してください。TYPE IV（メタル）テープには、録音することはできません。
◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。

テープにマニュアル録音する

FM/AM放送や外部機器を録音する場合などに使用します。

1. テープボタンを押します

TAPE　0000

2. テープをセットします

テープの始めにリーダーテープ（録音できない部分）があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。また、誤消去防止ツメの折れているテープには録音できません。

3. テープボタンを押します

押すごとに演奏方向が切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(■)ボタンを押します。

◄（リバース方向）◄――――►►（フォワード方向）

テープをセットするとき、A面を手前にすれば►がA面に、◄がB面になります。

4. 録音したい機器を選びます

FM/AM ラジオを録音する場合

チューナーボタンを押してから、 録音したい放送局を受信しておきます。

外部機器を録音する場合

外部入力（AUX）ボタンを押してから、録音したい外部機器の準備をしておきます。

本機の CD を録音する場合

CD演奏ボタンを押すと、本機のCDをマニュアルで録音することができます。もう一度CD演奏ボタンを押して一時停止にします。

PDR-NS1 の CD を録音する場合

CD-R演奏ボタンを押すと、PDR-NS1のCDをマニュアルで録音することができます。もう一度CD-R演奏ボタンを押して一時停止にします。

MD を録音する場合

MD演奏ボタンを押すと、MDをマニュアルで録音することができます。もう一度MD演奏/一時停止ボタンを押して、一時停止にします。

5. カセットデッキの録音一時停止ボタンを押します

録音一時停止状態になります。

6. テープボタンを押します

録音を開始します。

7. 手順4で選んだ機器の演奏を開始します

録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

メ モ

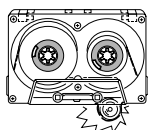
- ▼ MDレコーダー（MJ-NS1）の接続時に、本機表示部の演奏時間表示の横に点灯する►マークは、オートマーク機能表示です。詳しくは、MDレコーダー（MJ-NS1）の取扱説明書をご覧ください。
- ▼ 録音を一時停止する場合は、録音中に録音一時停止ボタンを押します。もう一度押すと、録音を再開します。

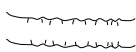
注 意

- ◆ TYPE I（ノーマル）かTYPE II（クローム/HIGH）を使用してください。TYPE IV（メタル）テープには、録音することはできません。
- ◆ 本機はALC（Auto Level Control）により自動的に録音レベルを設定します。
- ◆ 外部入力を録音中、大きすぎる信号を入力すると、録音された音が歪みっぽく感じられることがあります。そのときは、入力アッテネーターを使用してください。（40ページ参照）
- ◆ MDとテープの同時録音はできません。

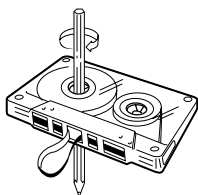
テープの取り扱いかた

⚠ 注意

C-90を超えるテープ（C-100,C-120等）は厚みが非常に薄く、早送り、巻き戻し、停止等を繰り返すと、ピンチローラやキャプスタンに巻き込んだり、テープが切れたりする原因になりますので、ご使用にならないでください。

テープがからまる！

■ **巻き乱れのあるテープ、わかめ状になったテープ、伸びたテープなどは、巻き込んだり切れたりする場合がありますのでご使用はおすすめできません。**

わかめ状になったテープ

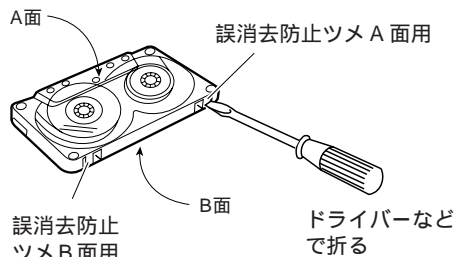
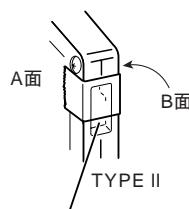
伸びたテープ

■ **テープたるみがあると巻き込んだりする場合がありますので、ご使用の前に図のようにたるみを取り除いてください。**

テープのはじめには、リーダーテープ（録音できない部分）があります。あらかじめ、約5秒間テープを走行させてから録音を始めてください。
また、録音前に早送り、巻き戻しをすると、テープの巻きムラによって起こるカセットデッキへの負担が防げます。

保管

カセットケースに入れて、ホコリ・油・湿気・磁気の影響を受けないところに保管してください。

録音したものを誤って消さないために

カセットテープの側面にある誤消去防止用のツメを折ってください。ツメを折っても、穴をセロハンテープなどで二重にしっかりと貼れば録音することができます。
TYPE II（HIGH/クローム）のカセットテープでは、テープタイプの検知用の穴をふさがないようにご注意してください。

検知孔をふさがないようにしてください。

カセットデッキのヘッドは汚れていませんか？

いままでにお客様の製品で、カセットデッキのヘッド汚れにより、正常に録音ができない、音がこもっている、高音が出ない、正常に再生しない、音が出ない、音がおかしいといった故障がありました。
それほどヘッド部の清掃は重要です。
製品を自分で故障させないために、いつもきれいにしておいてください。
おおよそ10時間程度の使用を目安に汚れを拭きとってください。

清掃のしかた

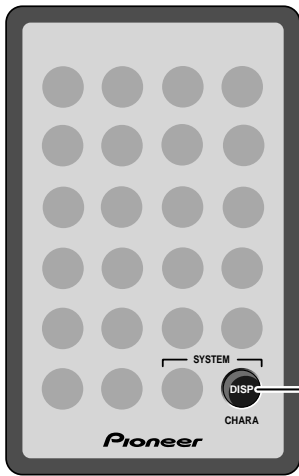
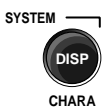
① 湿式のクリーニングカセットをセットする。
② テープ演奏/方向切換ボタンを押してテープを走行させる。
乾式のクリーニングカセットは使用しないでください。

注意

・ 清掃後は、クリーニング液が乾くまで（2～3分）テープをセットしないでください。

クリーニングカセットについて

市販されているクリーニングカセットの中には、構造不備のため、クリーニングカセット自体が取り出せなくなる恐れのあるものがありますのでご注意ください。

表示を切りかえる

システムディスプレイ/キャラクターボタン

システムディスプレイボタンを押します

押すごとに、表示の内容が以下のように切りかわります。

FM/AM 放送受信時の表示内容

テープ演奏時の表示内容

CD 停止中の表示内容

CD 演奏中の表示内容

* ランダム演奏中は表示しません。

メ モ

▼ 電源がオフの時でもディスプレイ(DISPLAY)ボタンを押すと、現在の曜日と時間、または現在の日にちを表示させることができます。
表示を消す場合は、電源ボタンを押します。

決めた時刻に演奏する（目覚ましタイマー）

メ モ

▼ 目覚ましタイマーは、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注 意

◆ MDやCD-R、テープを使用できるのは、オプションの機器を購入されている場合だけです。
◆ 12ページにて時刻の設定をしていないと操作はできません。
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示が点滅してタイマーは動作しません。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。

午前７時４０分に演奏がスタートし、午前９時００分に演奏が終わるようにタイマーをセットするとき

1. 演奏させたい機器の準備をします

FM/AM 放送で目覚めるには....

TUNER

チューナーボタンを押してから、好きな放送局を受信します。(13 ページ参照)

CD で目覚めるには....

CD

CD 演奏ボタンを押してから、CD をセットします。(17 ページ参照)

テープで目覚めるには....

TAPE

テープボタンを押してから、テープをセットしておきます。(22 ページ参照)

MD で目覚めるには....

MD

MD ボタンを押してから、MD をセットします。(詳しくは、MJ-NS1の取扱説明書を参照して下さい。)

CD-R で目覚めるには....

CD-R

CD-R演奏ボタンを押してから、ディスクをセットします。(詳しくは、PDR-NS1 の取扱説明書を参照して下さい。)

2. 音量の調整を行ないます

設定した音量でタイマーがオンします。

3. タイマーボタンを押します

TIMER

4. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"WAKE-UP" を選びます

WAKE-UP

5. セットボタンを押します

SET

6. ⏮ ボタンまたは⏭ ボタンを押して、"TIMER EDIT" を選びます

TIMER EDIT

7. セットボタンを押します

SET

8.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して開始時刻の「時」を合わせ、セットボタンを押します

例の場合は、7 にします

ON 7:00 am

9.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して開始時刻の「分」を合わせ、セットボタンを押します

例の場合は、40 にします

ON 7:40 am

10

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、終了時刻の「時」を合わせ、セットボタンを押します

例の場合は、9 にします

OFF 9:40 am

11

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、開始時刻の「分」を合わせます

例の場合は、00 にします

OFF 9:00 am

12

セットボタンを押します

終了時刻の「分」が入力され、自動的に設定の確認になります。

TIMER CHECK

間違えて入力してしまった場合は、キャンセルボタンを押して、一度入力画面を終了してから、手順 3 から再度やり直してください。

13

STANDBY/ON

スタンバイ/オン・スイッチを押して電源をオフにします

CD チューナーのスタンバイインジケーターが緑色に点灯して、タイマー待機中であることを示します。

設定を確認するには

電源がオフの時に、タイマーボタンを押します

確認表示が終わると、自動的に電源がオフになります。

解除するには

1.

TIMER

タイマーボタンを押します

2.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"WAKE-UP" を選びます

WAKE-UP

3.

SET

セットボタンを押します

4.

⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"TIMER OFF" を選びます

TIMER OFF

5.

SET

セットボタンを押します

メ モ

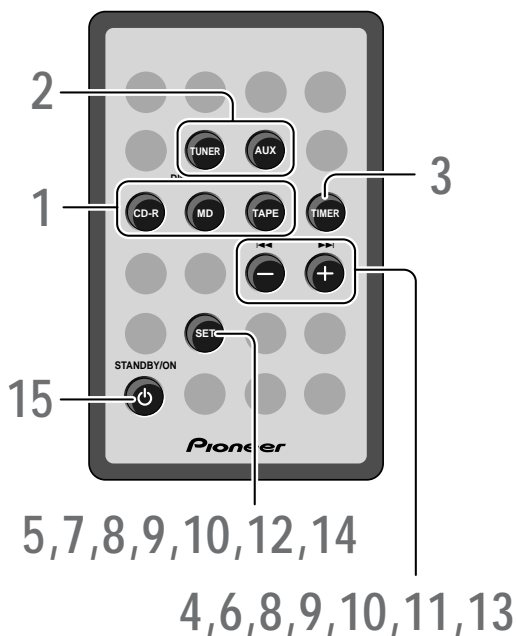
▼ 解除する前と同じ設定内容で再び目覚ましタイマーを設定する場合は、手順 4 で "TIMER ON" を選択します。

決めた時刻に録音する（タイマー録音）

2 TUNER AUX
1 CD-R MD TAPE
3 TIMER
15 STANDBY/ON
SET
5,7,8,9,10,12,14
4,6,8,9,10,11,13

注 意

- ◆ MDやCD-R、テープを使用できるのは、オプションの機器を購入されている場合だけです。
- ◆ 12ページにて時刻の設定をしていないと操作はできません。
- ◆ タイマー録音中は音量は 0 になり音は出ません。タイマー録音したあとは音量は 0 になっています。
- ◆ タイマー録音は 1 度行うとタイマー動作はオフになります。そのつど設定してください。
- ◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示が点滅してタイマーは動作しません。この場合はタイマー録音の設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてタイマー録音を設定し直してください。
- ◆ "TIMER REC" メニューは、チューナーまたは、AUX のファンクションのときだけ表示されます。

午前 7 時 40 分から午前 9 時 00 分まで留守録音する場合

1. 録音する機器の準備をします

テープに留守録音するには....

TAPE

テープボタンを押してから、テープをセットします。その後、演奏方向、ドルビーNR、リバースモードの設定をしておきます。(31、25ページ参照)

MD に留守録音するには....

MD

MDボタンを押してから、MDをセットします。(詳しくは、MJ-NS1 の取扱説明書を参照して下さい。)

CD-R に留守録音するには....

CD-R

CD-R 演奏ボタンを押してから、ディスクをセットします。(詳しくは、PDR-NS1 の取扱説明書を参照して下さい。)

2. 録音したい機器の準備をします

FM / AM 放送を留守録音するには....

TUNER

チューナーボタン押してから、録音したい放送局を受信します。(14 ～ 16 ページ参照)

外部機器を留守録音するには....

AUX

外部入力（AUX IN）端子につないだ機器を録音するときは、AUXボタンを押してから、タイマー録音開始時にその機器の音が出るように設定しておきます。

3. タイマーボタンを押します

TIMER

4. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"TIMER REC" を選びます

TIMER REC

5. セットボタンを押します

SET

6. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"TIMER EDIT" を選びます

TIMER EDIT

7. セットボタンを押します

SET

8. **⏮ボタンまたは ⏭ボタンを押して開始時刻の「時」を合わせ、セットボタンを押します**

例の場合は、7 にします

ON 7:00 am

9. **⏮ボタンまたは ⏭ボタンを押して開始時刻の「分」を合わせ、セットボタンを押します**

例の場合は、40 にします

ON 7:40 am

10 **⏮ボタンまたは ⏭ボタンを押して、終了時刻の「時」を合わせ、セットボタンを押します**

例の場合は、9 にします

OFF 9:40 am

11 **⏮ボタンまたは ⏭ボタンを押して、開始時刻の「分」を合わせます**

OFF 9:00 am

12 **セットボタンを押します**

13 **⏮ボタンまたは ⏭ボタンを押して、手順 1 で準備した機器（録音する機器）を選びます**

→ MD REC → TAPE REC → CD-R REC →

14 **セットボタンを押します**

自動的に設定の確認になります。間違えて入力してしまった場合は、キャンセルボタンを押して、一度入力画面を終了してから、手順 3 から再度やり直してください。

15 **スタンバイ/オン・スイッチを押して電源をオフにします**

CD チューナーのスタンバイインジケーターが緑色に点灯して、タイマー待機中であることを示します。

設定を確認するには

電源がオフの時に、タイマーボタンを押します

確認表示が終わると、自動的に電源がオフになります。

解除するには

1. **チューナーボタンか AUX ボタンを押します**

2. **タイマーボタンを押します**

3. **⏮ボタンまたは ⏭ボタンを押して、"TIMER REC"を選びます**

TIMER REC

4. **セットボタンを押します**

5. **⏮ボタンまたは ⏭ボタンを押して、"TIMER OFF" を選びます**

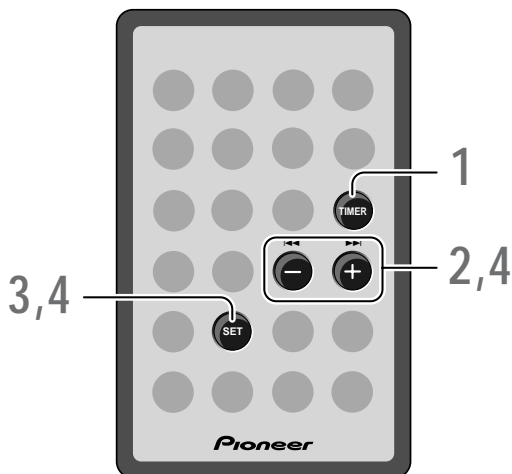
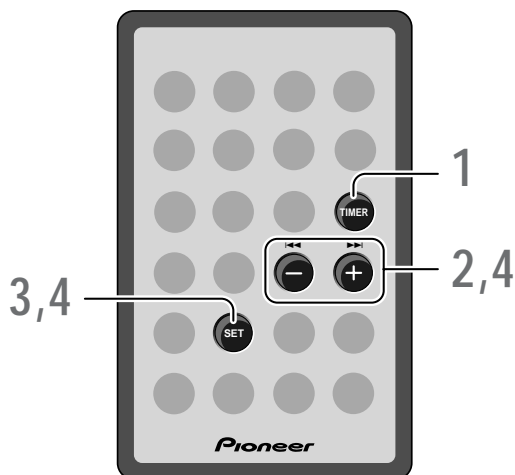
TIMER OFF

6. **セットボタンを押します**

メ モ

▼ 解除する前と同じ設定内容で再びタイマー録音を設定する場合は、手順 5 で "TIMER ON" を選択します。

音楽を聞きながら眠る

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、90分、60分、30分の３種類と、スリープオート＊です。

＊ **スリープオート(SLEEP AUTO)**
リピート演奏中でないCDやMD、テープ、CD-Rの演奏中、またはMDやテープ、CD-Rの録音中に選ぶことができます。（FM/AM放送はテープやMD、CD-Rに録音中の時だけ選ぶことができます。）演奏または録音が終了して本機が停止してから１分後に自動的に電源がオフになります。

注 意

◆ スリープ動作中は表示が暗くなります（ディマー機能/37ページ参照）
◆ MDやCD-R、テープを使用できるのは、オプションの機器を購入されている場合だけです。

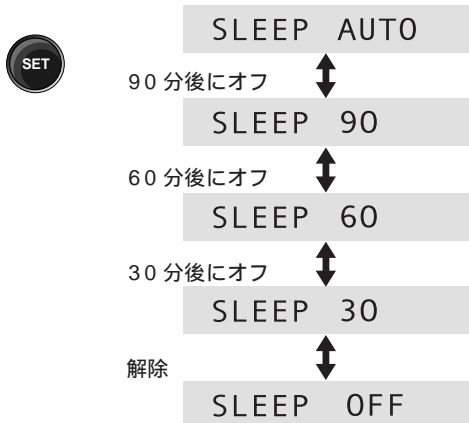
1. タイマーボタンを押します

2. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"SLEEP TIMER"を選びます

SLEEP TIMER

3. セットボタンを押します

4. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、スリープタイマーの種類を選び 、セットボタンを押します

スリープオート＊ — SLEEP AUTO
90分後にオフ — SLEEP 90
60分後にオフ — SLEEP 60
30分後にオフ — SLEEP 30
解除 — SLEEP OFF

スリープタイマーの残り時間を確認する

1. タイマーボタンを押します

2. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"SLEEP TIMER"を選びます

SLEEP TIMER

3. セットボタンを押します

残り時間が表示されます。

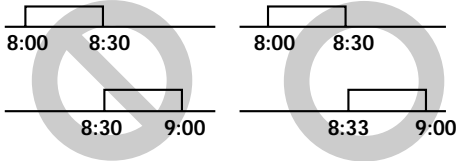
4. セットボタンを押します

もとの状態に戻ります。

タイマーを同時に使ったとき

注 意

目覚ましタイマーとタイマー録音を組み合わせて使う場合

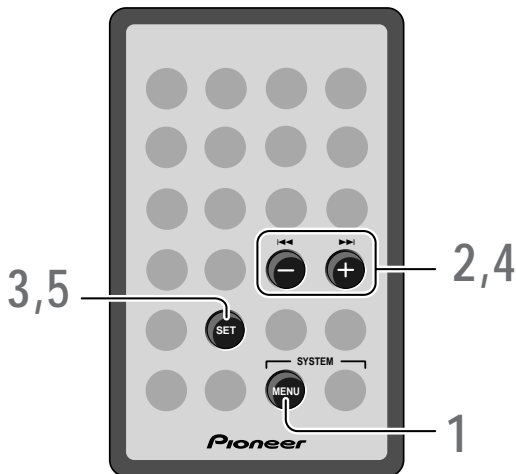
◆ 目覚ましタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を 3 分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマーが設定どおり動作しません。

◆ タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
また、開始時刻が重なったときはタイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーの順に優先されます。

スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝は FM で目覚めるといったことができます。

表示の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて、表示の明るさを、1～5 の 5 段階で変更することができます。

1. **システムメニューボタンを押します**

SYSTEM
MENU

メニューが表示されます。

2. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"DIMMER SEL" にします**

DIMMER SEL

3. **セットボタンを押します**

SET

4. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、明るさのレベルを選びます**

「LEVEL 1～5」の中から選択します。

5. **セットボタンを押して決定します**

SET

音質を調整する

1. サウンドボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。
調整したい音質を選びます。

BASS（バス）........................ 低音を調整するとき
TREBLE（トレブル）.................... 高音を調整するとき
WOOFER LEVEL（ウーファー レベル）..... サブウーファーの音量出力レベルの調整をするとき

2. セットボタンを押します

3. ⏮◀◀ ボタンまたは ▶▶⏭ ボタンを押して、各レベルを調整します

BASS（バス）、TREBLE（トレブル）の場合は、+4 から –4 の範囲で調整ができます。
WOOFER LEVEL（ウーファー レベル）の場合は、LOW（低い）、MID（中）HIGH（高い）の 3 段階です。

⏮◀◀ ボタンを 2 回押して、–2 にしたときの例

BASS　　-2

4. セットボタンを押して決定します

セット(SET)ボタンを押さなくても、手順 3 で 5 秒間操作しないと、自動的にセットされます。

注 意

◆ 音質やバランスの調整は録音の音には影響しません。

バランスを調整する

スピーカーシステムからの左右の音のバランスを調整します。

1. サウンドボタンを押して、"BALANCE" を選びます

2. セットボタンを押します

3. ⏮◀◀ ボタンまたは ▶▶⏭ ボタンを押して、左右のバランスを調整します

LEFT10～CENTER～RIGHT10 の間で調整できます。
本来中央から聞こえるべき音（ボーカルや、モノラルソース）が、中央になるようにします。

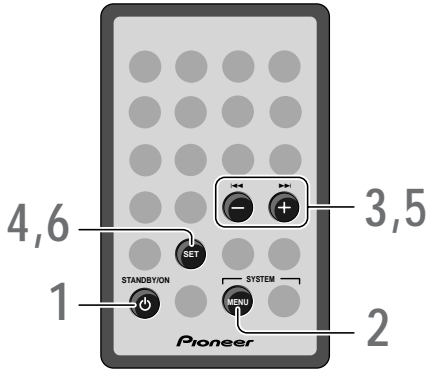
4. セットボタンを押して決定します

セットボタンを押さなくても、バランスを設定してから 5 秒間操作しないと、自動的にセットされます。

注 意

◆ 本機のバランス調整は微調整用です。左から右の間を等間隔に調整できるものではありません。

CD ドアウィンドウの赤外線センサーの設定

本機は CD の演奏中においても、赤外線センサーにより CD ドアウィンドウが自動的に開くように設定されていますが、赤外線センサーを解除したり、CD の演奏中は赤外線センサーが動作しないように設定したりすることができます。

1. スタンバイ/オン・スイッチを押して電源をオフにします

2. システムメニューボタンを押します

3. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"SENSOR MODE" にします

SENSOR MODE

4. セットボタンを押します

5. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、お好きなモードを選択します

- CD が演奏中でも、赤外線センサーにより、CD ドアウィンドウが開きます（初期設定）

SNSR MODE 1

- CD が停止のとき、赤外線センサーにより、CD ドアウィンドウが開きます

SNSR MODE 2

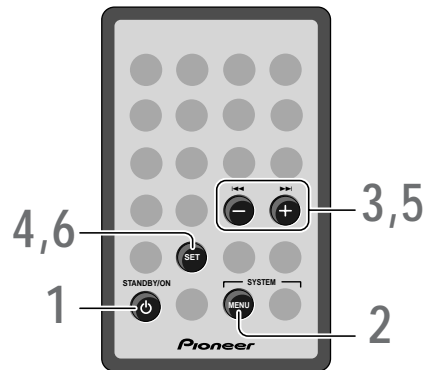
- 赤外線センサーでは、CD ドアウィンドウは開きません（リモコンや本体の CD 開閉ボタンで開閉します）

SNSR OFF

6. セットボタンを押して決定します

電源がオフになります。

CD ドアウィンドウの確認音の設定

本機は、CD ドアウィンドウの開閉時に確認音が鳴るように設定されていますが、鳴らないように設定することもできます。

1. スタンバイ/オン・スイッチを押して電源をオフにします

2. システムメニューボタンを押します

3. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"BEEP MODE" にします

BEEP MODE

4. セットボタンを押します

5. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"BEEP OFF" を選びます

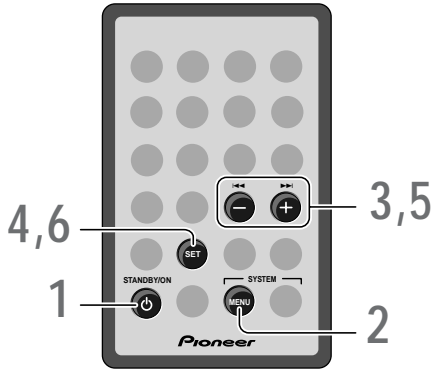
"BEEP OFF"にすると、CD ドアウィンドウの開閉時の確認音が鳴らなくなります。

BEEP OFF

6. セットボタンを押して決定します

電源がオフになります。

時計の表示を切りかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切りかえることができます。初期値は、12 時間表示になっています。

1. **スタンバイ/オン・スイッチを押して電源をオフにします**

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"HOUR FORMAT" にします**

HOUR FORMAT

4. **セットボタンを押します**

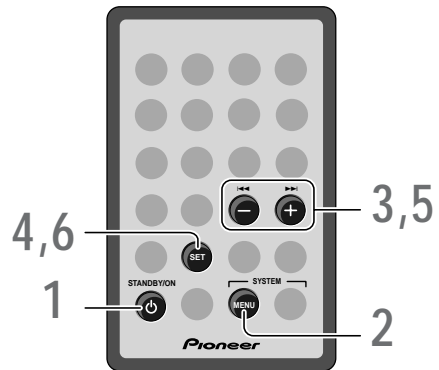
5. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、お好きな表示を選択します**

- 12 時間表示　12-HOUR
- 24 時間表示　24-HOUR

6. **セットボタンを押して決定します**

電源がオフになります。

入力アッテネーターを使う

外部入力（AUX IN）端子に接続した外部機器からアナログ録音したときに、録音したものを再生すると歪みっぽく感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンすると改善されることがあります。設定すると表示部に "ATT" と点灯します。

1. **スタンバイ/オン・スイッチを押して電源をオフにします**

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"AUX ATT" にします**

AUX　ATT

4. **セットボタンを押します**

5. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"ATT ON" か "ATT OFF" を選びます**

"ATT ON" にすると、アッテネーター（減衰器）により、入力信号がー 6dB（半分に）減衰します。

ATT　ON

6. **セットボタンを押して決定します**

電源がオフになります。

日ごろのお手入れ

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCD レンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後、DAT/テープデッキについては最低6年間、ステレオ製品については最低8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

42～43ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：コンパクトミニコンポーネント（例）
- 型番：XC-NSF1（例）
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い

修理のために本機をお持ちいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症　状	原因と思われること	処　置
全てに共通	本機やオプションの機器の電源が入らない。	● システムケーブルの接続が不完全、またははずれている。	● システムケーブルを確実に接続する。 P.5
	使用中に電源が切れてしまう。	● 放熱ファンの吸い込み口をふさいでいる。	● 設置しなおしてください。 P.10
	音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● 入力切換が正しく選択されていない。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。
	ファンクションが切り換えられない。	● カセットデッキ、MDレコーダー、CDレコーダーが録音中になっている。	● 録音中はファンクションは切り換えられません。
CD関係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。	● ディスクの裏表を逆にセットしている。 ● ディスクに汚れやくもりなどがある。 ● ディスクに大きなキズやソリなどがある。 ● ファイナライズされていないCD-R/CD-RWを使用している。	● ディスクのレーベル面（印刷のある面）を上側にし、正しくセットする。 ● ディスクをクリーニングする。 ● ディスクを交換する。 ● レコーダーにてファイナライズ処理をする。
放送関係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	● アンテナが接続されていない。 ● アンテナの向き、位置が悪い。 ● 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用している。 ● 本機CDチューナーとアンテナが近い	● アンテナを正しく接続する。 ● アンテナの向きや位置を調整する。 ● 雑音を発生させる機器の使用をやめるか、アンテナを離す。 ● 本機CDチューナーとアンテナを離す
	放送がステレオなのにステレオにならない。	● モノラルモードになっている。	● メニューで「FM AUTO」を選択する。 P.14
テープ関係	録音ができない。	● 誤消去防止用ツメが折れている。	● テープを交換するか、またはツメの部分にセロハンテープを貼って穴をふさぐ。 P.30
	音がこもる。録音済みのテープの上から重ねて録音したとき、前の音が残る。	● ヘッドが汚れている。	● ヘッドを清掃する。 P.30
	音がこもる。高音が強すぎる。	● ドルビーNRの設定が、録音したときと同じ設定になっていない。	● ドルビーNRの設定を切りかえる。 P.24
その他	タイマーが動作しない。	● 現在時刻の設定がされていない。 ● 停電のため時計が合っていない（点滅表示している）	● 現在時刻を設定する。 P.12 ● 現在時刻を再設定する。 P.12
	リモコンがきかない。	● リモコンの電池がなくなっている。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	● 新しい電池と交換する。 ● リモコン受光部を蛍光灯から離す。
	赤外線センサーにより、CDドアウインドウが開かない	● 赤外線センサーモードがオフになっている。 ● 録音中である。	● 赤外線センサーのモードを、モード1か2にする。 ● 録音中は開きません。録音を停止すれば開きます。
	赤外線センサーにより、CDドアウインドウが不必要に開いてしまう。	● CDチューナーのすぐ横に壁や本などの遮へい物がある。 ● 赤外線センサー受光部の前方に物などの遮へい物がある。	● CDチューナーのすぐ横に壁がこないように設置するか、本などの遮へい物を移動させる。 ● 遮へい物を移動させる。

故障？ちょっと調べてください

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。
- MD レコーダー、カセットデッキ、CD レコーダーの同じ機器を 2 台以上同時に接続して使用することはできません。

ステップ周波数を切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップは、FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに設定されています。本機ではこのステップ周波数を、FM 放送は 100kHz ステップに、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。

① 電源がオフのとき（スタンバイ状態）に、システムメニューボタンを押します
② ⏮ ⏭ ボタンを押して、"TUNER F.STEP" を選びます
③ セットボタンを押します
④ ⏮ ⏭ ボタンで "AM10K/FM100K" を選びます
⑤ セットボタンを押します

尚、AM 放送を 10kHz ステップに変更すると、国内のラジオ放送を受信することができなくなります。
9kHz に戻す時は、手順④で、"AM9K/FM50K" を選びます。

仕様

ステレオパワーアンプ：M-NSF1

実用最大出力（EIAJ）
　サテライト ..... 30W＋30W（3kHz、10％、8Ω）
　サブウーファー .... 50W（70Hz、10％、4Ω）
電源電圧 .... AC100V、50/60Hz
消費電力（電気用品取締法） 105W
スタンバイ時消費電力 0.9W
外形寸法 .... 190(幅)×80(高さ)×267(奥行)mm
質量 4.0kg

ステレオ CD チューナー：XC-NSF1

FM チューナー部
受信周波数 .... 76.0～108MHz
アンテナ 75Ω不平衡型

AM チューナー部
受信周波数
.... 522kHz～1,629kHz（9kHz ステップ）
.... 530kHz～1,700kHz（10kHz ステップ）
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

コンパクトディスクプレーヤー部
型式 ... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク .... コンパクトディスク
チャンネル数 .... 2 チャンネル（ステレオ）
周波数特性 .... 4Hz～20kHz
SN 比 .... 110dB(EIAJ)
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
外形寸法（スタンドを取り外し、CDドアウィンドウが閉じた状態）
.... 170(幅)×268(高さ)×66(奥行)mm
質量 1.5kg

ステレオカセットデッキ：CT-NS1

トラック方式 .... 4 トラック 2 チャンネルステレオ
周波数特性
TYPE I（ノーマル）テープ
.... ＊20Hz～16,000Hz±6dB
（－20dB 録音時）
TAPE II（HIGH／クローム）テープ
.... ＊20Hz～16,000Hz±6dB
（－20dB 録音時）
SN 比
.... ＊56dB（EIAJ/ ピーク録音レベル、聴感補正）
DOLBY B タイプ NR ON .... 5kHz で 10dB 改善
ワウフラッター .... 0.07%WRMS(JIS)
外形寸法（スタンドを取り外した状態）
.... 170(幅)×268(高さ)×66(奥行)mm
質量 1.5kg

＊ 印は日本電子機械工業会（EIAJ）規格に定められた測定方法による数値です。

サテライトスピーカー：S-NS1-LR

型式 .... ブックシェルフ型、防磁設計（EIAJ）*
使用スピーカー .... 7cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 8 Ω
再生周波数帯域 .... 125～20,000Hz
最大入力 .... 30W（EIAJ）
外形寸法（スタンドを取り外した状態）
.... 130(幅)×245(高さ)×65(奥行)mm
質量 0.7kg

サブウーファー：S-NS1-S-W

型式 .... ブックシェルフ型
使用スピーカー .... 16cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 22～3,000Hz
最大入力 .... 50W（EIAJ）
外形寸法 .... 190(幅)×282(高さ)×253(奥行)mm
質量 3.5kg

＊「防磁設計（EIAJ）とは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

付属品

保証書 1
取扱説明書（本書） 1
安全上のご注意 1
型紙（取付ネジ位置決め用） 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
FM 簡易アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモコン 1
リチウム電池（CR2025） 1
スタンド A 1
スタンド B 1
システムケーブル 1
電源コード 1
スピーカーシステムに付属
スピーカーコード 2
サブウーファーコード 1
スピーカースタンド 2
スピーカーグリル 2

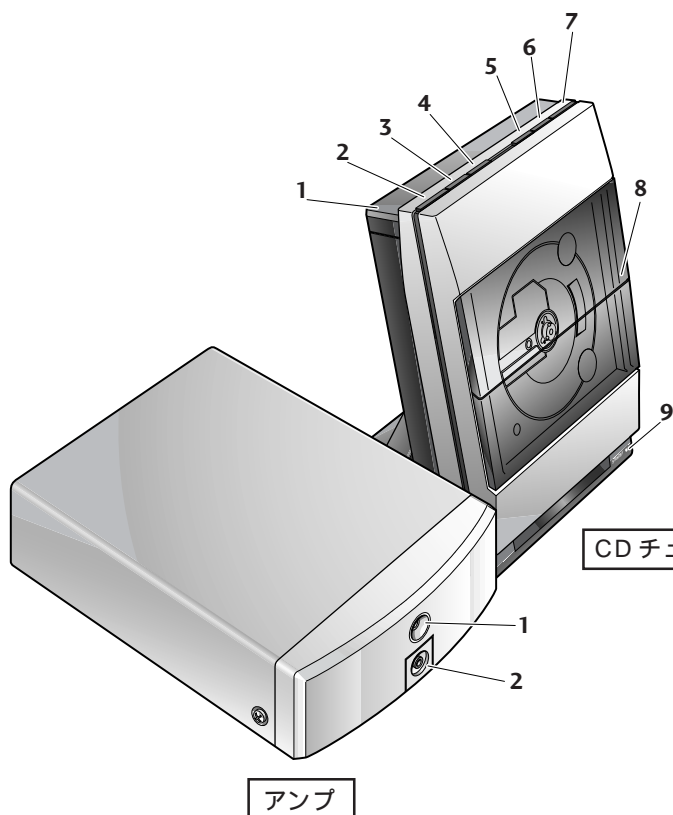
● **仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。**

各部の名称

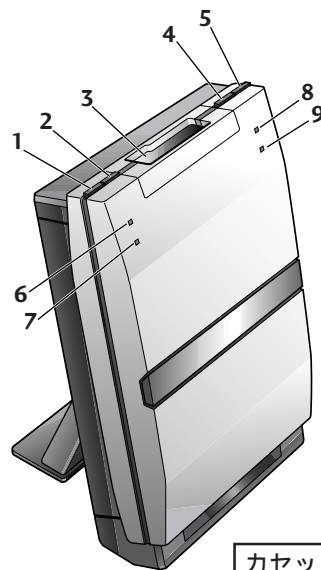
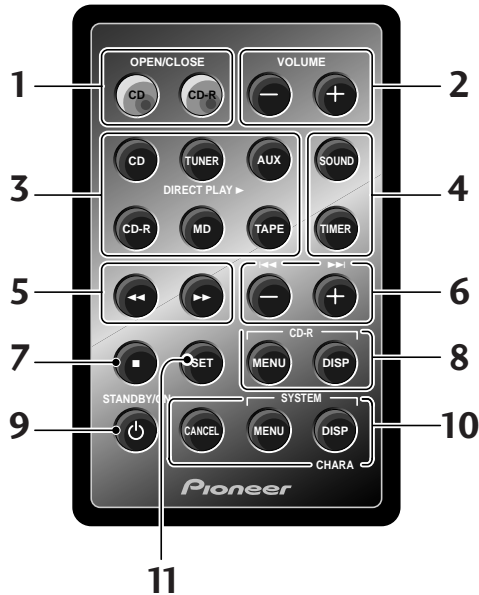
CD チューナー

① カバーパネル
② スタンバイ/オンボタン
押すと電源が入り､現在設定されている音量が表示部に表示されます。
③ ボリュームボタン （－）
音量が小さくなります。
④ ボリュームボタン （＋）
音量が大きくなります。
⑤ 停止(■)ボタン
⑥ CD演奏ボタン
⑦ CD開閉ボタン
⑧ CDドアウィンドウ
⑨ スタンバイインジケーター
電源オフ時に点灯します。タイマー待機時は、緑色に点灯します。

アンプ

① パワーインジケーター
電源オン時に点灯します。
② ヘッドホン端子
市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス 16 Ω～50 Ω（推奨 32 Ω）で、直径 3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

カセットデッキ

① ◄ ► ボタン
② 停止(■)ボタン
③ テープ挿入口
④ 録音一時停止ボタン
⑤ ⏏ボタン
⑥ 演奏インジケーター
テープの演奏中に点灯します。
⑦ リバースモード・インジケーター
リバースモードにおいて、ENDLESSが設定されていると点灯します。ONE-WAY が設定されていると消灯します。
⑧ 録音インジケーター
録音中または録音一時停止中に点灯します。
⑨ ドルビー・インジケーター
ドルビー・オン(DOLBY NR ON)が設定されていると点灯します。

その他

リモコン

① 開閉ボタン

CD 開閉ボタン ....CD ドアウィンドウの開閉を行います。

CD-R 開閉ボタン ......オプションの CD-R レコーダー（PDR-NS1）の CD-R ドアウィンドウの開閉を行います。

② ボリュームボタン （ー/＋）

（ー）を押すと音量が小さくなります。（＋）を押すと音量が大きくなります。

③ CD演奏ボタン

CD の演奏を開始したり、一時停止させたりします。

チューナーボタン

ラジオ放送を聞いたり、FM 放送と AM 放送を切りかえたりします。

AUXボタン

本機で外部機器の演奏を聞いたり録音したりします。

CD-R演奏ボタン

オプションの CD レコーダー（PDR-NS1）を演奏させたり一時停止させたりします。

MD演奏ボタン

オプションの MD レコーダー（MJ-NS1）で、MD の演奏を開始したり、一時停止させたりします。

テープ演奏ボタン

オプションのカセットデッキ（CT-NS1）で、テープの演奏を開始したり、演奏方向をかえたりします。

④ サウンドボタン

音質をかえたりします。

タイマーボタン

時計を合わせたり、目覚ましタイマーやタイマー録音などのタイマー機能を使うときに使用します。

⑤ ◄◄ ►► ボタン

CD チューナーやオプション機器の演奏の早送りや早戻しをします。また、AM/FM 放送においては、周波数のチューニングを行います。

⑥ |◄◄ ►►| （ー/＋）ボタン

CD チューナーやオプション機器において、曲の頭出しを行ったり、メニューの操作時に使用します。また、AM/FM 放送においては、ステーションの選択を行います。

⑦ 停止(■)ボタン

CD チューナーやオプション機器の演奏を停止します。

⑧ CD-R操作ボタン

オプションの CD レコーダー（PDR-NS1）を操作するときに使用します。詳しくは、PDR-NS1 に付属の取扱説明書をご覧ください。

⑨ スタンバイ/オンボタン

押すと電源が入り、現在設定されている音量が表示部に表示されます。

⑩ システムメニューボタン

CD チューナーやオプションのカセットデッキ、MD レコーダーのメニュー操作をするときに使用します。

システムディスプレイ/キャラクターボタン

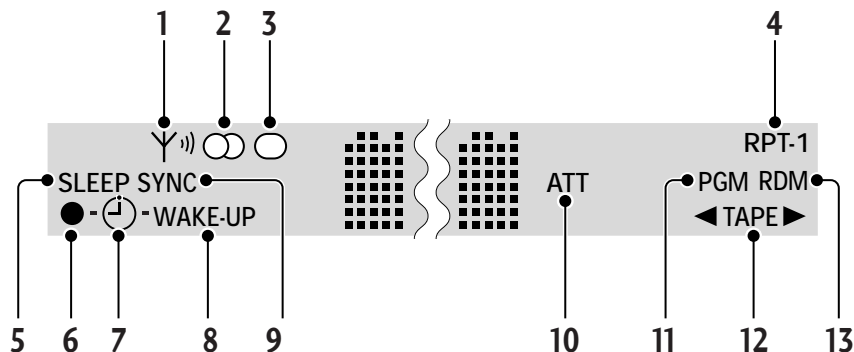
CD チューナーやオプションのカセットデッキ、MD レコーダーの表示内容を切りかえます。また、ネーム機能を使うときにも使用します。

キャンセルボタン

ネーム機能やプログラム演奏を使うときに使用します。

⑪ セットボタン

CD チューナーやオプション機器のメニューの操作時に使用します。

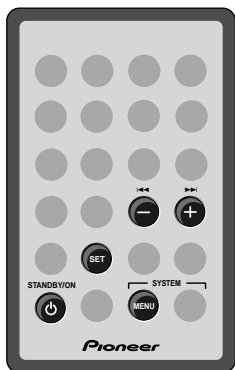
表示部

① 放送局受信時に点灯します
② ステレオ放送受信時に点灯します
③ モノラルモード時に点灯します
④ 全曲リピート演奏が設定されていると"RPT"と点灯し、一曲リピート演奏が設定されていると"RPT-1"と点灯します。
⑤ スリープタイマー設定／動作時に点灯します
⑥ 録音タイマー設定時に点灯・動作時に点滅します
⑦ 目覚ましタイマー/録音タイマー設定時に点灯・動作時に点滅します
⑧ 目覚ましタイマー設定時に点灯・動作時に点滅します
⑨ シンクロ録音の待機／動作時に点滅/点灯します
⑩ 入力アッテネーターがオンになっていると点灯します
⑪ プログラム演奏が設定されていると点灯します
⑫ オプションのカセットデッキ（CT-NS1）が接続されているときに点灯し、テープの演奏方向を示します
⑬ ランダム演奏中に点灯します

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し､電源プラグをコンセントから抜き､故障や事故防止のため電気店または､お近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

デモ表示について

表示部に自動的にいろいろな表示が行われることを、デモ表示といいます。以下のケースのときにデモ表示は行われます。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- CD、MD、テープ、CD レコーダーの演奏や録音が終了して５分以上何も操作をしないとき
- 停電したあと

注 意

◆ デモ表示の解除をセットした場合でも、停電や電源プラグを抜いた状態で12時間以上放置しますと、再度電源プラグをコンセントに差した時にデモモードを表示する場合があります。

デモ表示を解除するには

1 電源をオフにします
2 システムメニューボタンを押します
3 ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"DEMO MODE" にします

DEMO MODE

4 セットボタンを押します
5 ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"DEMO OFF" を選びます

DEMO OFF

6 セットボタンを押します

デモ表示を一時的に解除するには

何かのボタンを押します。一時的にデモ表示を解除します。

デモ表示を再び設定させるには

手順 5 で、"DEMO ON" を選びます

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　フリーフォン 0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　フリーフォン 0070-800-8181-33

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<ARA7127-A>

<TSWZF/00J00001>